

リアホナ

表紙の記事——

預言者ジョセフについての
新たな視点
16ページ

服装が問題になるのは
なぜですか
28, 32ページ

執事になったら、
どんなことがあるのですか
F12ページ

世界指導者訓練集会
49ページ

末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)

大管長会:ゴードン・B・ヒンクレイ、トーマス・S・モンソン、ジェームズ・E・ファウスト

十二使徒定員会:ボイド・K・バックナー、L・トム・ペリー、ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、ジョセフ・B・ワースリン、リチャード・G・スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホルランド、ヘンリー・B・アイリン、グ・ティーター・F・ワークトドルフ、デビッド・A・ベドナー

編集長:ジェイ・E・ジェンセン

顧問:モンティ・J・ブラフ、ゲリー・J・コールマン、菊地良彦

実務運営ディレクター:デビッド・フリッシュニク

編集ディレクター:ビクター・D・ケープ

主任編集者:ラリー・ヒラー、リチャード・M・ロムニー

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

編集主幹:ビクター・D・ケープ

編集主幹補佐:ジェニファー・L・グリーンウッド

副編集長:ライアン・カー、アダム・C・オルソン

編集補佐:スーザン・バレット

編集スタッフ:シャナ・バトラー、リンダ・ステール・クーバー、ラリー・ポーター、ガート、R・バル・ジョンソン、キャリー・カステン、メルビン・リービット、サリー・J・オデカー、ジュディス・M・バーラー、ビビアン・ポールセン、サラ・R・ポーター、ジェニファー・ローズ、ドン・L・サール、レベッカ・M・テラー、ロジャー・テリ、ジャネット・トーマス、ポール・バンデンバーク、ジュリー・ワデル、キンバリー・ウェット

主任秘書:モニカ・L・ディッキンソン

編集インターン:ブリタニー・ジョンズ・ビーム、ニール・セイモア

マーケティング部長:ラリー・ヒラー

実務運営アートディレクター:M・M・カフサキ

アートディレクター:スコット・パン・カンペン

制作主幹:ジェン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:カリ・R・アロウ、コレット・ネベカー、オース、ハワード・G・ブラウン、ジュリー・バーデット、トーマス・S・チャイルド、レジナルド・J・クリステンセン、キャスリーン・ハワード、デニス・カービー、タッド・R・ピーターソン、ランドール・J・ピクストン

印刷ディレクター:クレーク・K・セジウィック

配送ディレクター:クリス・T・クリステンセン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会 〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30 電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 1,800円(送料共) 半年予約 1,200円(送料共) 普通号/大会号 200円

「リアホナ」への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。 Room 2420, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150-3220, USA 電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書)に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意は、以下の言語で出版されています。

アイスランド語、アルバニア語、アルメニア語、イタリア語、インドネシア語、ウクライナ語、英語、エストニア語、オランダ語、韓国語、カンボジア語、キリシ語、クロアチア語、セルビア語、シンハラ語、スウェーデン語、スペイン語、スロベニア語、セブアン語、タイ語、タガログ語、タビチ語、タミル語、中国語、チェコ語、テルグ語、デンマーク語、ドイツ語、トンガ語、日本語、ルウェー語、ハイチ語、ハンガリー語、フィンランド語、フィリピン語、フランス語、ブルガリア語、ベトナム語、ポーランド語、ポルトガル語、マラヤラム語、マダガスカル語、モンゴル語、ラトビア語、リトアニア語、ルーマニア語、ロシア語。(発行頻度は言語により異なります)

©2006 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷:日本「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において臨時に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品のクレジットに制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電子メール cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。英語版承認—1996年8月 翻訳承認—1996年8月 原題—International Magazines June 2006. Japanese. 26986 300

「リアホナ」は、教会のホームページwww.lds.org(英語)に様々な言語で掲載されています。英語の場合は「Gospel Library」(福音図書館)をクリックしてください。その他の言語は世界地図をクリックしてください。

For Readers in the United States and Canada: June 2006 no. 6 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150, USA. Subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$16.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah, and at additional mailing offices. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

一般

- 2 大管長会メッセージ——御霊の声 第二副管長 ジェームズ・E・ファウスト
8 完全な福音——アダムとエバの墮落
10 福音クラシック——預言者の特徴 ヒュー・B・ブラウン副管長
16 ジョセフ・スミス——回復の預言者
25 家庭訪問メッセージ——慈善を實踐し、助けを必要としている人を養う
32 憤り深い服装の大切さ
43 末日聖徒の声

わたしは見詰められていた
キンバリー・ウェブ
あと5分だけ
イレイン・ブラウン・プレスラー
小さな決断が永遠の祝福に
ビクター・ピノ・フエンテス
あのダンスカップルをもう一度一つに
カート・ステットナー
48 読者からの便り

世界指導者訓練集会——家族を支える

- 50 結婚——神の永遠の計画に不可欠なもの
十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー
56 互いに愛と関心を示し合う厳粛な責任
十二使徒定員会 L・トム・ペリー
61 両親が持つ神聖な義務 中央扶助協会会長 ボニー・D・パーキン
66 天の家——永遠の家族 第一副管長 トーマス・S・モンソン
72 「家族——世界への宣言」



49 家族を支える

家庭の夕べのためのアイデア

クラスや家庭において、「リアホナ」を使ってより効果的に福音を教えるために、このページに提案されているアイデアを役立てることができます。
「預言者の特徴」10ページ——家族の二人が弁護士の役になり、この記事の質疑応答形式



について証してください。
「質疑応答」22ページ——家族でモルモン書を紹介する練習をします。モルモン書がどのような本であるかを説明し、好きな聖句を紹介してください。あらかじめ聖文から章や節を選んでおき、読むように勧めます。受け取る役をする人は、質問をします。その質問にどのように答えるか、家族で話し合うこともできます。
「神聖な事柄に対する敬虔さ」28ページ——いろいろな服装をしている人の写真を見せ、それぞれどこで着るのがふさわしいか尋ねてください。記

青少年

- 7 二人の名前を身に付けて
ジーン・ブライス・ラゴウア
- 21 ポスター——引き延ばし
- 22 質疑応答——
宗教が異なる友人にモルモン書を
を紹介するいちばん良い方法は
何でしょうか
- 26 短いメッセージ
答えはその本の中に
アンドリュー・コンファーと
マイルズ・T・トゥアソン
転機 エルズワース・ギレット
- 28 神聖な事柄に対する敬虔さ
七十人会長会 D・トッド・クリストファーソン
- 37 御存じでしたか?
- 38 ともに学び、楽しもう ポール・バンデンバーク



28 神聖な事柄に対する意識

フレンド

- F2 預言者の声——伝道活動に感謝する
大管長 ゴードン・B・ヒンクレー
- F4 分かち合いの時間——いましめをまもる リンダ・マグレビー
- F6 小さなお友だちへ——固く心に決める E・イスラエル・ペレズ
- F8 ウィルフォード・ウッドラフだいかんちょうのしょうがいから
——よげんしゃのじゅんきょう
- F10 バター皿 パトリシア・R・ジョーンズ
- F12 ようこそ、アロン神権と若い男性へ
中央若い男性会長
チャールズ・W・ダールクイスト
- F15 おもちゃばこ
——せいてんのとうじょう
じんぶつの紙人形
- F16 フランネルボードの
日曜日ボックス

F2 宣教師の働きに
感謝する



今月号のどこかに隠れている

CTRリングを捜しながら、
戒めを守るときに受ける祝福について
考えてください。

事にある「日曜日の晴れ着」を確認し、適切な服装が天の御父への敬意をどのように表すか説明してください。家族で神聖な場所を挙げます。神聖な場所にふさわしい服装をするよう計画してください。

「固く心に決める」F6ページ——E・イスラエル・ペレズ長老が述べた、知恵の言葉に関する二つの事例のロールプレーをします。ただし、ペレズ長老が下した決断は伏せておきます。それぞれの事例のロールプレーをした後で、ペレズ長老がどのような対応をしたかを家族で推測してください。話を最後まで読んだら、家族が誘惑に立ち向かう備えができるよう、

長老が提示していることを話し合ってください。

「バター皿」F10ページ——硬貨を10枚、あるいは何か小さな物を使って、什分の一の律法について教えるように、家族の一人に頼んでください。バター皿の話をして、そのバター皿がエマにとってなぜそれほど大切なものであったのか、理由を話し合ってください。什分の一の律法について自分の経験を話し、証をしてください。

表紙

表紙——写真/ジョン・ルーク

裏表紙——写真/マシュー・ライアー、ジョン・ルーク

「フレンド」表紙

写真/ルート・シェーンバロド

今月号に採り上げられているテーマ

Fは「フレンド」の略

アダムとエバの墮落	8	ジョセフスミス	10, 16, F8
アロン神権	F12	初等協会	F4
イエスキリスト	8, 44	神殿	38
戒め	F4	聖文	F15
エデンの園	8	聖霊	2
教えること	1	セミナー	38
会員伝道	22, 38	知恵の言葉	F6
回復	10, 16	懐み	28, 32
家族歴史	46	伝道活動	26, F2
家庭の夕べ	1	日曜日ボックス	F16
家庭訪問	25	引き延ばし	21
神への務め	F12	服装	28, 32
悔い改め	7	ホームティーチング	6
敬虔	28	模範	45
啓示	2, 43	モルモン書	22, 26
慈愛	25	預言者	10
執事	F12	若い男性	F12
従順	F4, F6	わたしの福音の標準	F4
什分の一	F10	殉教	F8



御霊の声

第二副管長

ジェームズ・E・ファウスト

神 聖な事柄を教えなければならない責任の重さを、わたしは痛感しています。世界は変化しています。今後も、わたしが今知っている世界とは大きく異なったものになることを、十分承知しています。価値観も変わってきています。良いものを尊ぶ気持ちや基本的な品位は後退し、道徳的な暗黒が世を覆いつつあります。教会の若人は多くの点で未来の希望です。あたかも高価なダイヤモンドのように、背景が暗くなればなるほど輝きを増しています。

教義と聖約にはこうあります。「生ける神の声に耳を傾けなさい。」¹ 御霊の声はあらゆる人に向けて語っています。主は言われました。「御霊はその声を聴く……すべての人を照らす。」さらに主はこうも言われました。「御霊の声を聴くすべての人は、神、すなわち父のもとに来る。」² 裕福な生活を求める人もいますが、パウロは「霊は人を生かす」³ と明言しました。確かに、救い主も次のおっしゃっています。「わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。」⁴

喜びは賜物である

御霊の実とは何かと尋ねる人もいます。パウロはこう説明しています。御霊の実と

は「愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制〔である。〕」⁵ わたしたちの求める喜びは、感情が一時的に高まることではなく、神への信頼と長年の経験を通して内なる喜びを得、その喜びを絶えず感じ続けることです。リーハイは息子ヤコブへの教えの中で、こう言明しています。「人が存在するのは喜びを得るためである。」⁶ このすばらしい目的を遂げるには、「生ける神の声に耳を傾け」なければなりません。

御霊に耳を傾けるなら幸福が得られることを、わたしは生きた証人として^{あかし}証します。これは自分の経験から得た証です。福音に従って生活する人は、ニーファイ人がそうであったように、「幸福に暮ら」⁷ せるようになります。世界中で、この教会が確立している多くの国の教会員が、同じように証するでしょう。平安、希望、愛、喜びは、御霊の賜物として与えられる、と約束されています。その約束が確かであることを証明する事例は豊富にあります。これらの賜物が神のすべての子供たちに届くようにと、わたしも世界中の会員も声を合わせて願っています。

この世の声

しかしこの世にはほかの声もあります。パウロは「世には多種多様の言葉がある」⁸ と言っています。皆、御霊の声に対抗しようとして



御霊に耳を傾けるなら幸福が得られることを、わたしは生きた証人として^{あかし}証します。これは自分の経験から得た証です。

います。御霊の声は常に存在していますが、非常に静かです。イザヤはそのことをこう述べています。「正義は平和を生じ、正義の結ぶ実とはこしえの平安と信頼である。」⁹ 御霊の声をかき消すために、サタンは、もっともらしく聞こえ人の興味をかき立てる声^{しつよう}を、執拗に、大声で発しています。以下はその例です。

- 過去の嫌な思い出をよみがえらせる、不平不満の声。
- 努力や挑戦を拒絶させる、愚痴や泣き言の声。
- 情欲をかき立てる、誘惑の声。
- 現世での安全を確信させる、なだめすかす声。
- 知識を自慢し、偉そうに振る舞わせる、知性偏重の声。
- 人間の腕に頼らせる、うぬぼれの声。
- 誇り高ぶらせる、へつらいの声。
- 希望を打ち砕く、皮肉の声。
- 娯楽を追及させる、娯楽の声。
- 「価値のないものに金を使[い、]満足を得られないものに労力を費や」¹⁰すよう誘惑する、営利主義の声。
- 「過剰な興奮」を切望させる、狂乱の声。「過剰な興奮」とは、麻薬やアルコールが引き起こす興奮はもとより、スリルを味わうためではない危険な挑戦も指します。命はわたしたちに与えられているとはいえ、非常に尊いものなので、わたしたちは命をどう扱ったかについて主に申し開きしなければなりません。ですから命を軽々に扱ってはならないのです。いったん失った命を取り戻すことは不可能です。

洪水のようなメッセージ

今日の社会では、こう生きるのがいい、欲望を満たす方法はこれだ、こうすれば欲しいものが全部手に入る、といった無数の声が押し寄せています。簡単な操作一つで、パソコンソフト、データベース、テレビ、インターネット、衛星放送、通信ネットワークから、情報が洪水のようにわき出ます。落ち着いた静かな場所は少なくなっています。教会の若人は、一昔前には存在しなかった悪に日常的にさらされているのです。そう考えると、詩人T・S・エリオットの言葉が思い出されます。

「知識に埋もれて、知恵が見つからず、情報に埋もれて、知識が見当たらない。」¹¹

現代は、教会の若者が忠実さを保つのにには厳しい時代ではないでしょうか。ある意味で、手車で大平原を横断するよりもずっと過酷かもしれません。アメリカ辺境の荒れ野を移動していた手車隊は、仲間が亡くなると遺体を埋葬し、西部を目指して再び歩きだしました。しかし死を悼む人たちは、愛する人の不滅の霊に希望を抱いていました。一方、罪の荒れ野で霊的に死んでしまう人が出た場合、彼らの永遠の幸福について考えるにつけ、希望ではなく恐怖を感じるかもしれません。

若い人の中には、今すぐすべてを手に入れたいという世の風潮に毒されている人も大勢います。貯金も仕事もしたがりません。そうしたわがままで性急な欲望は、誘惑に対する抵抗力を弱めます。モルモン書にはサタンの用いる誘惑が4つ示されています。

- 利を得る。
- 権力を得る。
- 世の評判を得る。
- 肉欲やこの世のものを求める。¹²

小さな水のしずくが地形を変えていくように、毎分毎分の選択が人格を形成していくのです。

サタンは人々への策略として、「彼らの心を真理からそらそうとしているので、彼らは目をくらまされた者となり、彼らのために備えられている事柄を理解しな」¹³くなります。サタンは煙幕を張って、わたしたちの視野を曇らせ、注意をそらそうとします。

ヒーバー・J・グラント大管長(1856 - 1945年)はこう語りました。「神の戒めを忠実に守るならば、神の約束は文字どおりに成就[します。]……問題は、人類の敵が人の理性を失わせることです。その敵は、たとえて言うならば、人々の目にちりを投げつけます。すると人々はこの世のものによって目が見えなくなります。」¹⁴

義になつた声を聞く

耳を傾け、信じるべき声を、どのように選択したらよいでしょうか。このことは一人一人にとって非常に大きな意味があります。霊的に生き延びるには、少なくとも次の4つの事柄を実行する必要があります。



第1, 道徳的な選択の自由を賢明に用いる。アマレカイはどうすれば正しい選択ができるか教えています。「主から出るもののほかに、善いものは何一つないからである。悪いものは悪魔から出る。」¹⁵ わたしたちは時々刻々、選択を強いられています。主から出るものと悪魔から出るものとの間で何度も選択を繰り返しています。小さな水のしずくが地形を変えていくように、毎分毎分の選択が人格を形成していくのです。

第2, 目的を持つ。イスラエルの故ダヴィド・ベングリオン首相はかつて、ロシア共産主義革命の立案者の一人であるレオン・トロツキーについてこう述べました。「トロツキーは指導者ではない。トロツキーには知性があったが、目的を持っていなかった。だから指導者ではなかったのだ。」¹⁶ この世に生を受けた人はすべて目的を持たなければなりません。キリスト教会の会員としてわたしたちは、救いの結果につ

いて考えなければなりません。¹⁷ こう言った人がいます。「何かのために闘わなければ、何事においても敗北する。」

義にかなっていたニーファイ人は、降臨前に発せられた主の声を聞くために、注意を集中しなければなりません。「天から発せられるような声が聞こえた。しかし彼らは、自分たちに聞こえたその声の告げる意味が分からなかったので、辺りを見回した。それは耳障りな声ではなく、大きな声でもなかったが、小さな声でありながら、聞いた人々の心の中まで貫いたので、彼らの全身はことごとくそれによって震えた。まったく、それは魂そのものにまで彼らを貫き、彼らの心を燃え上がらせた。」¹⁸ 彼らは再び主の声を聞きましたが、理解できませんでした。3度目に主の声を聞いたとき、「耳を開いてそれを聞き、目をその声のする方へ向けて、その声が発せられる天を見詰め」¹⁹ました。同

波 長を
合わせるべき
チャンネルを
選ぶ明瞭な方法
を提案しましょう。
御霊の声に従うのです。
派手で
途切れることなく、
絶えず変化するものが
席卷する世にあって、
この方法は
平安をもたらします。

じようにわたしたちも、御霊の声に耳を傾けるために、耳を開き、目をその声のする方へ向けて、その声が発せられる天を見詰めなければなりません。

第3、証を強める。わたしたちは全員、救いの計画を研究し、自分と神との関係を学ばなければなりません。信仰によって歩むなら、信仰と証を強めてくれる霊的な経験を心の中で確認できるようになります。

第4、聖文を研究する。聖文は「主の声」であり「救いを得させる神の力」²⁰です。主はまた聖文に記されている御自分の言葉についてこう言われました。「これらの言葉をあなたがたに語っているのは、わたしの声である。これらの言葉は、わたしの御霊によってあなたがたに与えられているからである。」²¹

波長を合わせるべきチャンネルを選ぶ明瞭な方法を提案しましょう。御霊の声を聞き、御霊の声に従うのです。これは昔ながらの方法であり、永遠に不変の方法です。常に新しいものを追い求める社会では、あまり好まれないかもしれませんが。どんな欲求もすぐに満たしたがる世にあって、この方法には忍耐が必要です。派手で途切れることがなく、絶えず変化し、けばけばしく、露骨なものが席卷する世にあって、この方法は静かで、繊細であり、平安をもたらします。この方法を用いるには瞑想する必要があり、それは周りの人が世の中の刺激を求めているのとは対称的です。(身の回りに氾濫するささいな情報をいちいち心に留めることなど、何の価値もないとされる現代にあって、人々はこれをばかげたことのように思うかもしれませんが。)刺激や変化、新鮮味が薄れるとすぐに飽きが来るこの世にあって、これは昔ながらの一貫した方法です。この方法を用いるには、目に見えるものが支配する世にあって、信仰をもって歩む必要があります。²² 信仰の目を開けば、永遠で、肉の目では決して見ることでできない、霊的な真理を見ることができます。それは、人類の大部分が頼りにしているもの、すなわち五感を通してしか理解できないこの世のものと対局を成すものなのです。

わたしたちは御霊にかかわる事柄について瞑想することを学ぶとともに、御霊の促しを感じ取ってそれに従えるようになる必要があります。サタン²³の猛烈な攻撃を遮断するためです。御霊に波長を合わせるようになるにつれ「[わたしたち]のうしろで『これは道だ、これに歩め』と言う言葉を耳に聞く」²³ようになります。「生ける神の言葉」に耳を傾けるなら、「この世において平和を、また来るべき世において永遠の命を」²⁴ 受けることができます。それは、神のあらゆる賜物の中で最も大いなるものなのです。²⁵ ■

注

1. 教義と聖約 50 : 1
2. 教義と聖約 84 : 46 - 47
3. 2コリント 3 : 6
4. ヨハネ 6 : 63
5. ガラテヤ 5 : 22 - 23
6. 2ニーファイ 2 : 25
7. 2ニーファイ 5 : 27
8. 1コリント 14 : 10
9. イザヤ 32 : 17
10. 2ニーファイ 9 : 51
11. "Choruses from 'The Rock,'" *The Complete Poems and Plays* (1930年), 96
12. 1ニーファイ 22 : 23 参照
13. 教義と聖約 78 : 10
14. 『歴代大管長の教え——ヒーバー・J・グラント』30
15. オムナイ 1 : 25
16. Academy of Achievement, "Interview: Shimon Peres," インターネット, <http://www.achievement.org> 参照
17. 教義と聖約 46 : 7 参照
18. 3ニーファイ 11 : 3
19. 3ニーファイ 11 : 4 - 5 参照
20. 教義と聖約 68 : 4
21. 教義と聖約 18 : 35
22. 2コリント 4 : 18 ; 5 : 7 参照
23. イザヤ 30 : 21
24. 教義と聖約 59 : 23
25. 教義と聖約 14 : 7 参照

ホームティーチャーへの提案

このメッセージをよく祈って研究した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて分かち合ってください。幾つかの例を以下に紹介します。

1. ラジオをつけて、幾つかの局に周波数を合わせる。はっきり聞こえる局もあれば雑音の入る局もあることを指摘する。雑音と世の中の様々な声を比べる。また、はっきり聞こえる状態と御霊の声に波長が合っている状態を比べる。御霊に耳を傾けることに関するファウスト副管長の勧告を分かち合う。

2. 御霊の声をよく聞く方法について話し合う。ファウスト副管長の教えに述べられた、御霊を妨げる 11 の声の幾つかについて話し合う。または、「霊的に生き延びる」4つの方法について話し合う。家族に、御霊の声に気がついて従った経験を紹介してもらおう。

3. ファウスト副管長が引用した次の聖句を読んでもらう。ヨハネ 6 : 63 ; 2コリント 3 : 6 ; 教義と聖約 50 : 1 ; 84 : 46 - 47。これらの聖句に共通しているテーマを探す。このメッセージの中から、御霊の声に従うことで得られる祝福について述べている部分を読む。あなた自身の生活から御霊の力について証する。

二人の名前を 身に付けて

救い主を代表するためには父との和解が必要でした。

ジーン・ブライス・ラゴウア

教会に入ってから1年たち、わたしは専任宣教師として奉仕したいと望むようになりました。宣教師申請書に書き込むために監督から面接を受けていたとき、「人との関係で、まだ解決していない問題はありますか」と尋ねられました。

わたしは、ありませんと答えました。父との間の苦々しい思いに目をつぶり、そのような問題はないと自分に言い聞かせました。そして、自分はふさわしいので、いつでも宣教師になれると言い切ったのです。

翌日から、ひどい苦痛を感じ始めました。父と和解しなければならぬという思いにさいなまれたのです。父は子供のことをまったく顧みない人でした。子供たちは皆、父と口を利かなくなっていました。だれかに父のことを聞かれても、わたしは平然と「死にました」と答えていたほどです。

正直言って、話を聞こうともしてくれない人とどうして和解しなければならないのか分かりませんでした。自分は悪くないと思っていましたし、反対に、赦しを請いに來るべきなのは父の方だと感じていました。

それにもかかわらず、行って父に会うべきだという思いが、わたしを苦しめ続けました。

ある晩、わたしはとうとう父に会いに行

きました。父は220マイル(360キロ)ほど離れた所に住んでいました。最初の1時間は、侮辱と非難と辛辣な言葉の応酬で過ぎました。怒りの言葉が飛び交う中でも、不思議に、父と和解したいという強い気持ちがありました。そして、5時間後、神の御霊のおかげで、とうとう前向きな気持ちで話し合いを終えることができたのです。

涙をたくさん流した後、父と固く抱き合いました。長いこと互いを苦しめてきた怒りの原因が理解できて、二人とも安らぎを感じていました。最後に、父はぬるま湯の入ったコップを手に取り、話をしながらゆっくりと中味をこぼし始めました。和解を象徴するアフリカの風習です。それから父は、過去の出来事をすべて振り返り、過ちを悔い改める決心をした後で、祝福の言葉をかけてくれました。

天の御父に心から感謝しています。御父は靈感によって、父とこのような話し合いがしたいという望みを与えてくださり、わたしたちを悔い改めに導いてくださったのです。おかげで、コートジボアール・アビジャン伝道部で宣教師として奉

仕する間、喜んで二人の名前の入った名札を身に付けることができました。父の名前ラゴウアと救い主イエス・キリストの名前の入った名札を。■



アダムとエバの 墮落



末日聖徒イエス・キリスト教会特有の教義を 説明するシリーズ

ほかのキリスト教会はほとんど、墮落は悲劇であり、アダムとエバが禁じられた実を食べさえしなかったら、二人とその子孫は皆、今でもエデンの園で死を味わうことなく、幸せに暮らしていたであろうと教えています。しかし、末日の預言者に示された真理は、墮落は悲劇ではないと教えています。墮落がなかったら、アダムとエバは子孫を得ることができませんでした。つまり、墮落は御父の計画に必要な一つの段階であって、御父の子供たちに永遠の幸福をもたらすために欠かせないものだったのです。

死のないところには、子孫も進歩もない

リーハイは息子ヤコブに次のように教えました。「アダムが

もし背かなかったならば、彼は墮落をせずにそのままエデンの園にいたであろう。

そして、アダムとエバは子供を持たなかったであろう。また、不幸を知らないで喜びもなく、罪を知らないで善も行わず、罪のない状態にとどまっていたであろう。

しかし見よ、すべての物事は、万事を御存じである御方の知恵によって行われてきた。

アダムが墮落したのは人が存在するためであり、人が存在するのは喜びを得るためである。」(2ニーファイ 2：22 - 25)

アダムとエバが善悪を知る木の実を食べると、二人の目は開かれました。そして、エバは背いたことで得ることができた機会を知り、喜びながら言いました。「わたしたちの背きがなかったならば、わたしたちは決して子孫を持つことはなく、また善悪も、^{あがな}贖いの喜びも、神がすべての従順な者に与えてくださる永遠の命も、決して知ることはなかったでしょう。」(モーセ 5：11)

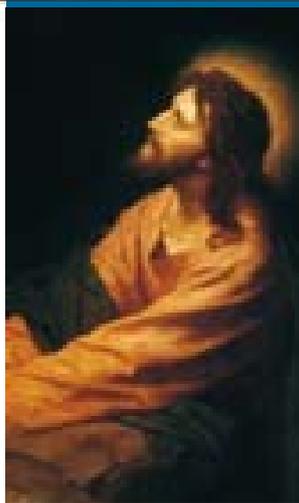
実を食べたことで死すべき状態がもたらされたと同時に、善悪を選ぶ多くの機会が与えられ、アダムとエバは子供をもうけることも可能になりました。このように墮落は、天の御父の子供たちがこの世に生を受け、肉体を得て、「偉大な幸福の計画」に参加する道を開いたのです(アルマ42:8)。「したがって、この世の生涯は試しの状態」つまり学び、成長し、悔い改め、弱点を克服する時期「すなわち神にお会いする用意をする時期」となったのです(アルマ12:24)。

墮落は罪ではない

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長(1876-1972年)は次のように言っています。「墮落でエバが果たした役割をわたしは決して罪とは呼ばないし、アダムも罪を犯したと責めるつもりはない。……これは律法に対する背きではあったが、……罪ではなかった。……なぜなら、それはアダムとエバがどうしてもしなければならなかったからである！」¹

罪と背きの違いに関して、十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように説明しています。「ここに述べられている罪と背きを比較すると、信仰箇条第2条での慎重な言葉の使い分けを思い出します。『わたしたちは、人は自分の罪のゆえに罰せられ、アダムの背きのゆえには罰せられないことを信じる。』(強調付加)このような区別は、身近な法律の中にもあります。ある行為(例えば殺人など)は、本質的に不当なことなので犯罪なのですが、別の行為(例えば無許可営業など)は、単に法律で禁じられているということで犯罪になるのです。このように区別した場合、墮落をもたらした行為は、罪——本質的に不当な行為——ではなく、背き——形式的に禁じられていた行為——です。罪と背きという言葉は、常に別々のことを意味するというわけではありませんが、『墮落』について話すときには、この区別が重要になります。』²

アダムとエバは罪を犯さなかったものの、自分たちの背きに伴う結果を受けなければなりません。そのうちの二つは、霊の死と肉体の死を受けることでした。肉体の死は、アダムとエバがこの世の生涯を終えるときに経験するのですが、霊の死は、二人がエデンの園を追われて主の前から絶たれたときに受けました(アルマ42:9参照)。



アダムとエバの
子孫は皆、
墮落の結果を
受け継いでいるものの、
イエス・キリストの
あがな贖いがあるので、
自分自身の罪にのみ
責任を負うのです。

原罪

最初の両親が背いた結果は「神の前からの追放」と「世に肉体の死をもたらしたこと」であると、スミス大管長は説明しています。「〔クリスチャンの〕大多数が信じているのは、地上に生まれてくる子供は皆『原罪』によって汚れている、つまり、生まれたときにアダムの背きを負って来るということである。信仰箇条第2条は、このばかげた、誤った教義に異を唱えている。』³ アダムとエバの子孫は皆、墮落の結果を受け継いでいるものの、イエス・キリストの贖いがあるので、自分自身の罪にのみ責任を負うのです。そして責任を負う年齢に達する前に死んだ幼い子供たちは「キリストによって生きて」いて(モロナイ8:12)、悔い改めもバプテスマも必要ありません(モロナイ8:8-11参照)。

園で与えられた戒め

主はエデンの園でアダムとエバに戒めを与えられました。そのうちの二つは、生めよ、増えよ、地に満ちよというもの(創世1:28参照)、善悪を知る木の実を取って食べてはならないというものでした(創世2:17参照)。この二つの戒めは、アダムとエバに選択をさせるために与えられたのです。スミス大管長は次のように教えています。「主はアダムに、そのまま園にとどまりたければ実を食べてはならないが、もし実を食べて死ぬことを望むなら、そうしてもよいと言われたのである。』⁴ このジレンマに直面して、アダムとエバは肉体と霊の死を選び、自らと子孫のために、知識と経験を得て、永遠の命に導く御父の幸福の計画に参加する道を開いたのです。■

注

1. 『救いの教義』ブルース・R・マッコスキー編、全3巻、第1巻、109-110参照
2. 「人に幸福を与える偉大な計画」『聖徒の道』1994年1月号、81-82参照
3. *Answers to Gospel Questions*, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編、全5巻(1957-1966年)、第1巻、82
4. *Answers to Gospel Questions*, 第4巻、81

預言者の特徴

ヒュー・B・ブラウン副管長 (1883 - 1975年)

ヒュー・B・ブラウンは、1883年10月24日、ユタ州ソルトレーク・シティーでリディア・ジェーン・ブラウンとホーマー・マンリー・ブラウンのもとに生まれました。15歳のとき、家族でカナダに移っています。1908年6月17日に、チャールズ・O・カード(カナダ・アルバータ州カードストンの町を築いた)の娘で、ブリガム・ヤングの孫娘に当たるジーナ・ヤング・カードとソルトレーク神殿で結婚しました。ジーナとの間に6人の娘と2人の息子がいます。ブラウン副管長は、最初はカナダで、後に合衆国で、弁護士として働きました。第一次世界大戦の間は、カナダ陸軍の少佐として海外任務に就きました。1946年から1950年には、ブリガム・ヤング大学で、宗教学の教授と退役軍人コーディネーターを務めました。1953年、カナダ・リッチランド石油開発株式会社 (Richland Oil Development Company of Canada, Ltd) の社長職にあったとき、十二使徒補助に召されました。1958年4月10日、十二使徒に聖任され、1961年6月22日、デビッド・O・マッケイ大管長の副管長として支持されました。1970年1月18日にマッケイ大管長が死去するまで大管長会で奉仕し、その後十二使徒定員会の務めに戻りました。1975年12月2日に死去しました。

しばらくの間ここに立ち、イエス・キリストの福音がわたしたちの時代に回復され、この教会が主の指示の下に預言者ジョセフ・スミスによって組織された教会であることを証させてください。わたしがなぜそのような信仰を抱いているのか、また、なぜこの教会に忠誠を尽くしているのかについて述べたいのです。簡潔にするために、〔第二次大戦〕が勃発する前の1939年、イギリスのロンドンで、ある人と話し合った経験について話しましょう。わたしは、ある著名なイギリス紳士と何度か会いました。下院議員であり、かつてはイギリス最高裁判所の判事を務めた人でした。この紳士と、いろいろな事柄——彼はそれを「心を煩わす事柄」と呼びました——について話し合いました。ビジネス、法律、政治、国際問題、戦争についてよく話し合いましたし、宗教も度々話題になりました。ある日、彼から電話があり、福音のあ

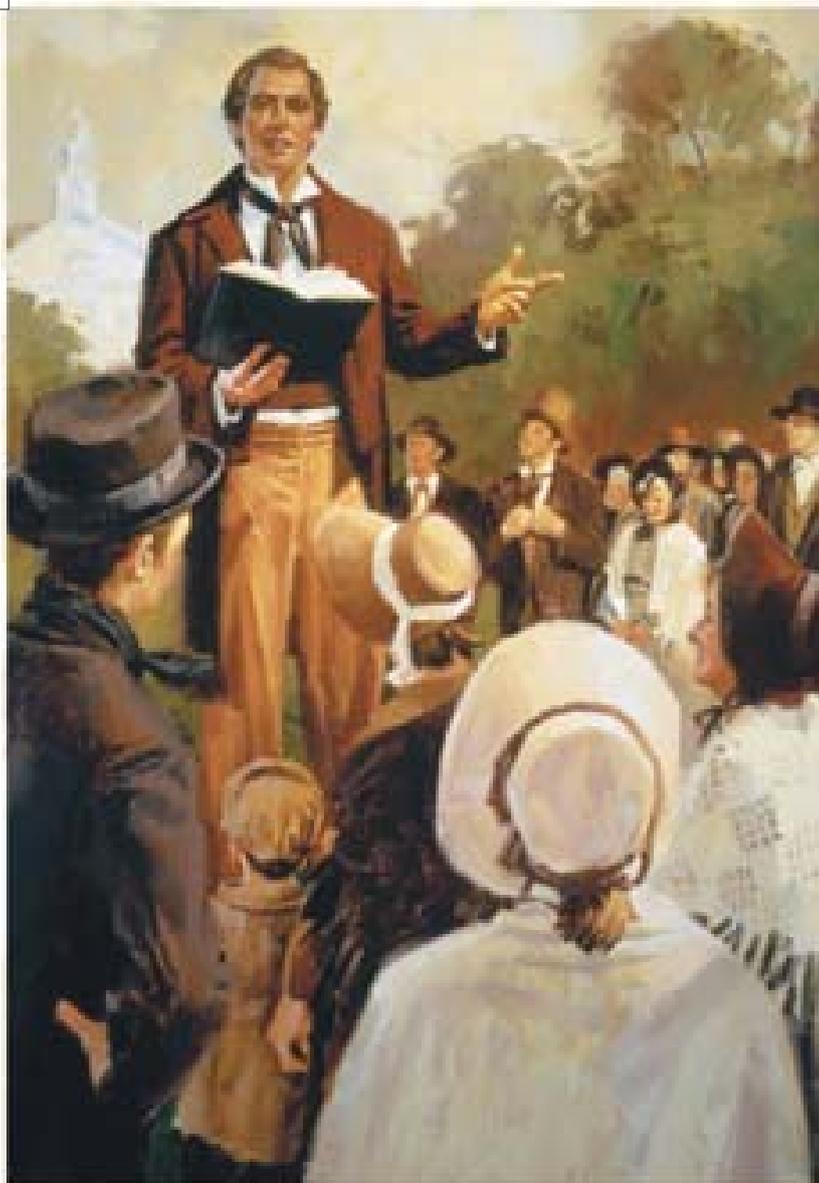


神に関する事柄は
聖霊のささやきによってのみ知ることができるのです。
そのささやきを通して、
わたしはジョセフ・スミスが
神の預言者であることを
知っているのです。

る部分について説明してほしいから事務所に来てくれないかと頼まれました。彼は言いました。「もうすぐ戦争になるでしょう。そうなると、あなたはアメリカへ帰り、もう二度と会えなくなります。」戦争が始まって、もう会えなくなるかもしれないという彼の言葉は、現実になりました。事務所へ行ってみると、以前わたしが話した幾つかの事柄についてもっと知りたいと言われました。彼は、法律問題を話し合うときのように要点を文書にまとめて、それに基づいてモルモンイズムについて話し合おうと言ってきました。

彼は言いました。「ジョセフ・スミスが預言者であると信じていると言っていましたね。父なる神とナザレのイエスが、ジョセフ・スミスに現れたと信じているとも言っていましたね。論理や証明に通じたカナダ人弁護士が、どうしてそのような不合理を信じているのか、理解できません。あなたがジョセフ・スミスについて話して





いることは、夢物語に聞こえます。ですから、少なくとも3日かけてモルモニズムの要点をまとめてください。わたしがそれを検討して質問できるようにしてほしいのです。」

わたしは、今すぐ予備尋問を始めてはどうかと提案しました。つまり、訴訟事件で原告と被告が双方の弁護士の立ち会いの下で行うように、各々の主張を述べ合い、合意できる点があるかどうかを調べて、その後の審理の時間を節約してはどうだろうかと提案したのです。そうすれば、その「夢物語」について話し合う際の出発点となる共通の地盤があるかどうか分かるだろうと言いました。彼はこの提案に喜んで同意しました。

3時間に及んだ彼との会談を数分に凝縮し、これから皆さんに話しましょう。時間を短縮するために、陳述ではなく質疑応答の形式にしましょう。まず、次のような質問から始めました。「あなたがクリスチャンであるということを前提にして、

始めてよろしいでしょうか。」

「はい。」

「旧約聖書と新約聖書を信じていますか。」

「信じています。」

「祈ることは正しいと考えていますか。」

「はい。」

「神がこの時代に一人の人に語られたと信じるのは、夢物語であり、ばかげていると言うのですね。」

「わたしには、そう思えます。」

「かつて神は一度でも人間に語られたことがあると信じていますか。」

「もちろんです。聖書全体を通じてそのことが証明されています。」

「神はアダムに語られましたか。」

「はい。」

「エノク、ノア、アブラハム、モーセ、ヤコブ、ヨセフ、そして代々の預言者にも語られましたか。」

「神は、彼ら一人一人に語られたと信じています。」

「イエスが地上に来られたとき、神と人間との交わりが絶たれてしまったと信じていますか。」

「いいえ、神と人間との交わりは、そのときまさに最高潮に達しました。」

「イエスは神の子であられたと信じますか。」

「イエスは神の子でした。」

「イエスが復活された後に、タルソに住むサウロという名の男が、法律に精通し、天幕造りでもあったあのサウロが、ダマスコへ向かう途中、十字架にかけられ、復活し、昇天されたナザレのイエスと話したことを信じていますか。」

「はい。」

「サウロはだれの声を聞きましたか。」

「イエス・キリストの声です。イエス自身がそのように言われました。」

「それでは、……聖書時代には、神が人に語られるのは当たり前のことであると認めるのですね。」

「それは認めましょう。しかし、そのようなことは西暦1世紀が過ぎるとすぐに終わりました。」

「なぜ終わったと思いますか。」

「分かりません。」

「それ以来、神は人間に語りかけてはおられないと思うのですね。」

「そう確信しています。」

「確信する理由があるはずです。理由を一つ挙げてもらえますか。」

「わたしには分かりません。」

「では、その理由として考えられることを代わりに述べさせてください。恐らく神はもう話せなくなったので、人間に語りかけることができなくなるのです。話す力を失われたのです。」

彼は言いました。「それは明らかに冒瀆ぼうとくです。」

「そうですか。では、恐らく神はもう人間を愛していないので、語りかけられないのです。神はもう人間がどうなろうと気にしておられないのです。」

「いいえ、神は全人類を愛しておられます。神は人を偏り見る御方ではありません。」

「そうですか。では、神には話す力があり、しかも人間を愛しておられるとするならば、わたしにはあと一つしか理由が考えられません。それは、人間がもう神を必要としていないということです。科学が著しく進歩し、人間は高度な教育を受けています。だからもう神は必要ないのです。」

すると彼は、差し迫った戦争のことを考えながら、声を震わせて言いました。「ブラウンさん、世界史を通じて今ほど神の声を必要としている時代はなかったでしょう。たぶんあなたなら、なぜ神が人間に語られないか説明できるでしょうね。」

わたしは答えました。「神は今も語られます。これまでずっと語ってこられました。しかし、神の声を聞くには信仰が必要なのです。」

次いでわたしたちは「預言者の特徴」とでも呼ぶべき文書をまとめました。彼とわたしは、預言者と称する人には普通の人と違う以下の特質が備わっているはずだということで意見が一致しました。

A. 預言者は、神が自分に語られたと勇敢ゆうかんに主張するはずである。

B. 預言者であると主張する人には威厳があり、そのメッセージも厳粛である。異常な行動

をしたり、亡霊のささやきを聞いたり、透視をしたりするのではなく、理性的に真理を述べるはずである。

C. 神の預言者であると主張する人は、恐れることなく、また一般大衆の意見に迎合することなく、託されたメッセージを宣言するはずである。

D. 神に代わって語る人は、たとえその時代の人々にとって受け入れ難い新しい教えであっても、妥協せずに教える。預言者は、自分の見たこと聞いたことを証し、論争によって自分の主張を立証しようとはしない。重要なのは預言者のメッセージであり、預言者自身ではない。

E. そのような人は、モーセやヨシヤなどのように、「主はこう仰せられる」と、主の名によって語る。

F. そのような人は、イザヤやエゼキエルのように、主の名によって未来の出来事を預言し、その預言は成就する。

G. 預言者は、自分の生きている時代についてメッセージを述べるだけでなく、ダニエル、エレミヤなどのように、未来の時代についてのメッセージも述べる。

H. 預言者は、迫害に耐える勇氣と信仰を持ち、ペテロやパウロなどのように、自分が信じる大義のために、必要であれば命をもささげる。

I. そのような人は、恐れることなく悪を非難する。一般に、同時代の人からは拒絶され迫害を受けるが、幾世代か後には、迫害者の子孫によってたたえられ記念碑が立てられるであろう。

J. 預言者は人間の力を超えたこと、神の助けがなければできないことを行うことができる。そのメッセージと働きがもたらした結果こそ、彼が預言者として召された

「ブラウンさん、
世界史を通じて
今ほど神の声を

必要としている時代は
なかったでしょう。
たぶんあなたなら、
なぜ神が人間に
語られないか
説明できるでしょうね。」

わたしは答えました。
「神は今も語られます。
これまでずっと
語ってこられました。
しかし、
神の声を聞くには
信仰が必要なのです。」



彼は腰を下ろして
注意深く
耳を傾け、
このように言いました。
「ブラウンさん、あなたの
教会の人たちは、
今あなたが語った
メッセージの重要性を
理解していますか。」

この確かな証拠となる。「その実によって彼らを見わけるのである。」「[マタイ7:20]

K. 預言者の教えは聖典と完全に一致している。彼の言葉と著作は聖文となる。「なぜなら、預言は決して人間の意志から出たものではなく、人々が聖霊に感じ、神によって語ったものだからである。」「(2ペテロ1:21)

さて、わたしは簡単な輪郭を描いただけです。皆さんはこの上にさらに細かく描くことができます。そして、ほかの預言者の業やその偉大さに照らして、預言者ジョセフ・スミスについて判断してください。

50年以上にわたって預言者ジョセフ・スミスの生涯を研究してきた者として、わたしは皆さんに申し上げます。……ジョセフ・スミスは今述べた神の預言者の基準を満たしています。

わたしがジョセフ・スミス^{りんかく}を神の預言者だと信じているのは、彼が預言者のように語ったからです。イエス・キリストの使徒たちが殺されて以来初めて、いにしへの預言者たちが常に主張してきた事柄を、〔すなわち、〕神が自分に語られたということ^{りんかく}を主張しました。その生き方も死に方も預言者そのものでした。わたしが彼を神の預言者だと信じているのは、彼がすべての啓示の中で最も偉大な啓示を世にもたらしたからです。わたしが彼を神の預言者だと信じているのは、彼が預言した多くのこと、まさに神にしかおできにならない多くのことが、成就しているからです。

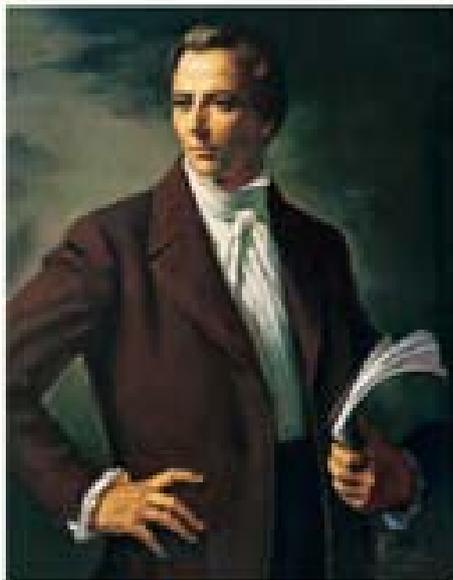
イエスの愛弟子ヨハネは宣言しました。「イエスのあかしは、すなわち預言の霊である。」「[黙示19:10]もしジョセフ・スミスがイエスについて証を持っていたのなら、彼は預言の霊を持っていたことになります。また、もし預言の霊を持っていたのなら、彼は預言者であったことになります。

わたしは皆さんに申し上げます。このことは先ほどのあの友人にも言いました。ジョセフ・スミスは、かつて世に生きてだれにも負けないほど、イエスの証を持っていました。なぜなら、古代の使徒たちのように、ジョセフはイエスを見、イエスが語られるのを聞いたからです。ジョセフは、その証のために命をささげました。イエス・キリストの神聖な召しを証する働きにおいて、預言者ジョセフ・スミス以上のことを成し遂げた人を指摘できる人が、だれかいるでしょうか。

わたしが預言者ジョセフ・スミス^{りんかく}を預言者だと信じているのは、彼が人間の力を超越する業を多く成し遂げたからです。その一つは、モルモン書の翻訳でした。同意しない人もいるでしょうが、モルモン書を翻訳するに当たって預言者ジョセフ・スミスは、超人的な業を果たしたと申し上げます。わたしが皆さんに、……アメリカの古代住民に関する物語を書くように依頼したとしましょう。ジョセフ・スミスが行ったように、何の資料も持たずに書いてみてください。皆さんが書く物語に、戦争を扱った54章と、21章の歴史に基づく話と、示現と預言に関する55の章を入れてください。また、示現や預言について書き始めるときは、細部まで聖書と矛盾してはならないことを忘れないでください。また皆さんは、教義と勧告についても71の章を書き、ここでも一つ一つ聖書と照合しなければ、詐欺師と言われることになるでしょう。また、キリストの務めについても21の章を書かなければなりません。キリストのすべての言動や、キリストについてのすべての証は、新約聖書と完全に一致していなければなりません。

皆さんは、そのようなことをしたいと思いませんか。また、この仕事を進めるときは、比喩、直喩、隠喩、物語、解説、叙述、修辭法、叙事詩、叙情詩、論理、たとえを用いなければなりません。皆さんはそのようなことをしたいと思いませんか。モルモン書を翻訳した人物は、皆さんが受けてきたような教育にあずかる機会





のなかった青年であったことを忘れないでください。それにもかかわらず、わずか2か月余りの間にこの書物を口述したのです。しかも訂正した箇所は、たとえあったとしても、ほんのわずかだけでした。世界指折りの優秀な学者や研究者が、モルモン書が偽りであることを聖書を使って証明しようと、100年以上にわたって努力しています。しかしジョセフ・スミスが書いたものの中に、聖書とわずかでも食い違う箇所を見つけることのできた人は、だれもいませんでした。

そのほかにも、ジョセフ・スミスは超人的な業を行っています。例を挙げましょう。彼はこの教会を組織しました。(ここで注目してほしいのは、合衆国憲法も含め、人間が作成した憲法で100年以上にわたって修正や改訂が加えられなかった憲法はないということです。しかし、この教会の基本的な律法や信条は、今まで一度も変更されたことはありません。)ジョセフ・スミスは福音のメッセージを国々に携えて行きました。それは今日でもなお進行している超人的な業です。ジョセフ・スミスは神の命令によって、何千という人をシオンに集めました。死者のために身代わりの儀式を制定し、その目的のために神殿を建設しました。信じる者にはしるしが伴うと約束しました。そして何千もの人が、その約束が果たされたことを確認する証人となりました。

わたしは先ほどの紳士にこう言いました。「……わたしの主張が夢物語だとなぜ言われるのか理解できません。また、キリストを信じていると主張していたクリスチャンがなぜジョセフを迫害し、殺したのかも理解できません。ジョセフの唯一の目的は、迫害者自身が断言していた事実、すなわちイエスはキリストであられるという事実を証明することだけだったのです。ジョセフが『自分がキリストである』とか、『キリストはいない』とか、別のだれかがキリストであるとか言っていたのであれば、彼が迫害されるのも理解できたかもしれません。もしそうであれば、キリストを信じるクリスチャンがジョセフに反対することは正当化されたことでしょう。しかし、ジョセフが言ったことはこうだったのです。『あなたがたが仕えていると主張する御方について、わたしは皆さんに宣言します。……わたしは証します。わたしはキリストにお会いしました。そしてキリストと語り合いました。キリストは神の御子

です。そのことのために皆さんがわたしを迫害するのは、なぜですか。』……」

皆さんの中には、あの判事との話し合いの結果を知りたい人がいるかもしれません。彼は腰を下ろして注意深く耳を傾け、非常に的を射た質問を幾つかしました。そして、会談の終わりにこのように言いました。「ブラウンさん、あなたの教会の人たちは、今あなたが語ったメッセージの重要性を理解して

いますか。今話したことが真実だとすれば、それは、天使がキリストの降臨を告げたとき以来、地上にもたらされた最も偉大なメッセージです。」

これが、判事であり偉大な政治家でもある一人の知的な人物の言葉でした。彼は挑むように問いかけました。「あなたは自分が話したことの意義を理解していますか。」そしてこう言いました。「それがほんとうのことならよいでしょうに。ほんとうのことであってほしいと思います。神はそれがほんとうであるかどうか御存じです。」そして涙を流しながらこう言いました。「おお神よ、『主はこう言われる』と権威をもって語る人を地上にお遣わしてください。」

前に述べたように、その紳士とはそれ以後会っていません。今わたしは皆さんに、ジョセフ・スミスは神の預言者だと信じる理由を幾つか簡潔に話しました。しかし、今述べたことすべての基礎となる何よりも重要なことは——わたしは真心から申し上げますが——聖霊の啓示により、ジョセフ・スミスが神の預言者であったと知っているということです。先ほど引用した証拠や、そのほかの証拠は、知的な確信を与えるのには役立つかもしれませんが、神に関する事柄は聖霊のささやきによってのみ知ることができるのです。そのささやきを通して、わたしはジョセフ・スミスが神の預言者であることを知っているのです。この知識を得られたことを神に感謝します。■

1955年10月4日、ブリガム・ヤング大学における説教。当時編集発行された原稿から抜粋しました。

ジョセフ・スミス

回復の預言者



1805年12月23日、バーモントの田舎町に住む貧しい農家に男の子が生まれました。世がその誕生を知ることはなかったでしょう。しかし、地上では注目されることもなかったその出来事も、天では違いました。この子の誕生は、「ジョセフ」というその名に至るまで、遠い昔に預言されていたのです(2ニーファイ3:15参照)。

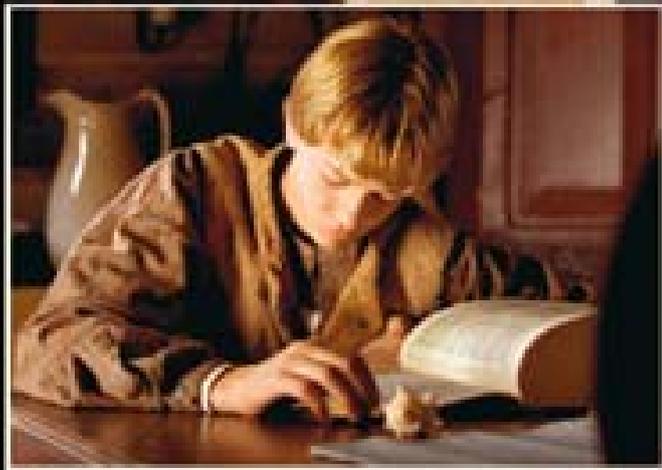
この無名の少年に天が開け、神である御父と御子が示現の中に御姿を現されたのは、彼がまだ14歳のときでした。そして若いジョセフは後に、自

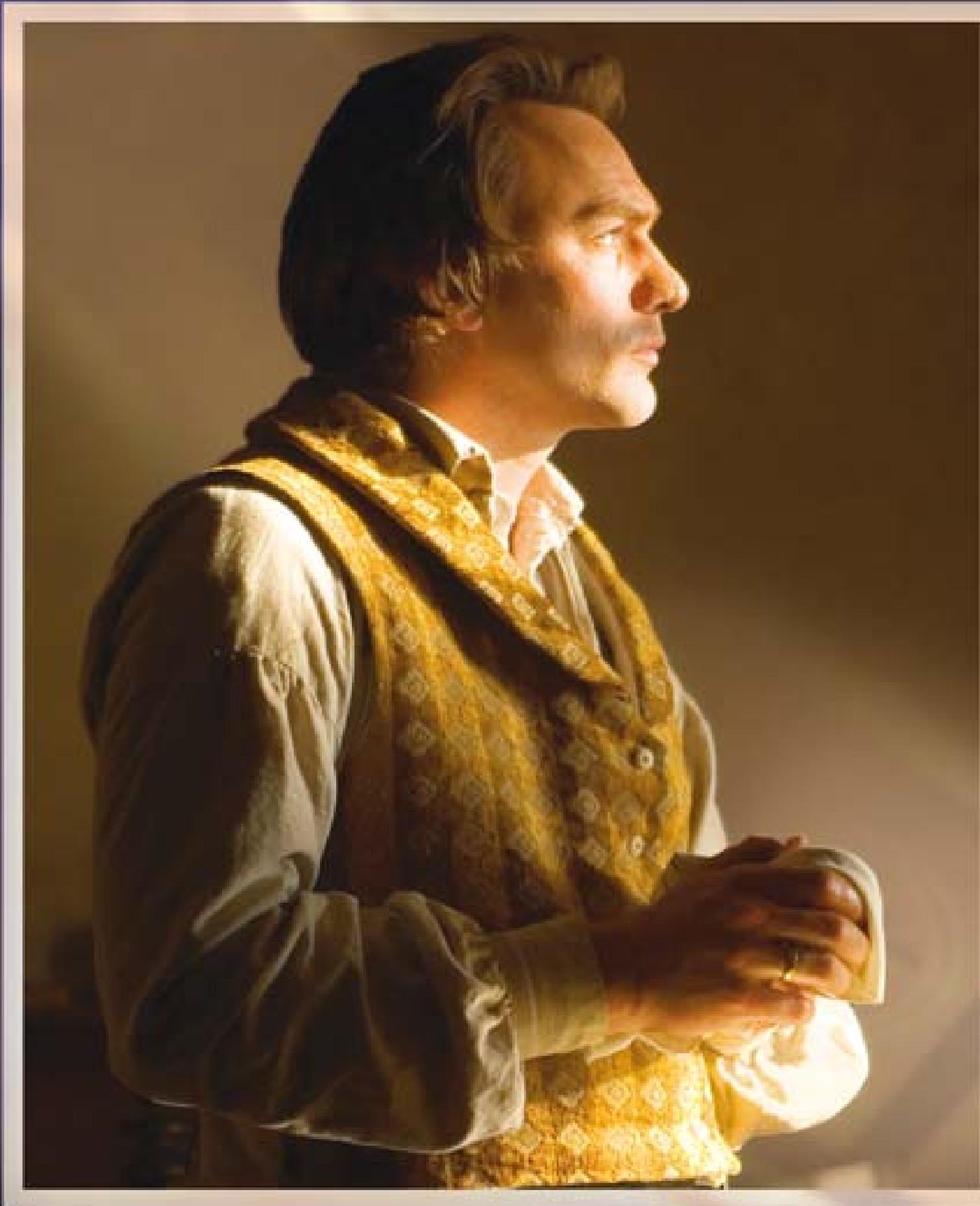
分の名前が「良くも悪くもすべての民の中で語られることを」知りました(ジョセフ・スミス—歴史1:33)。

今日ジョセフ・スミスの名前は、その善い行いのゆえに無数の人の心に生きています。新作映画『ジョセフ・スミス—回復の預言者』は、ジョセフ・スミスの生涯を描写したものです。ここに掲載する写真は、現在世界各地の多くの教会訪問者センターで上映されている映画の一部です。

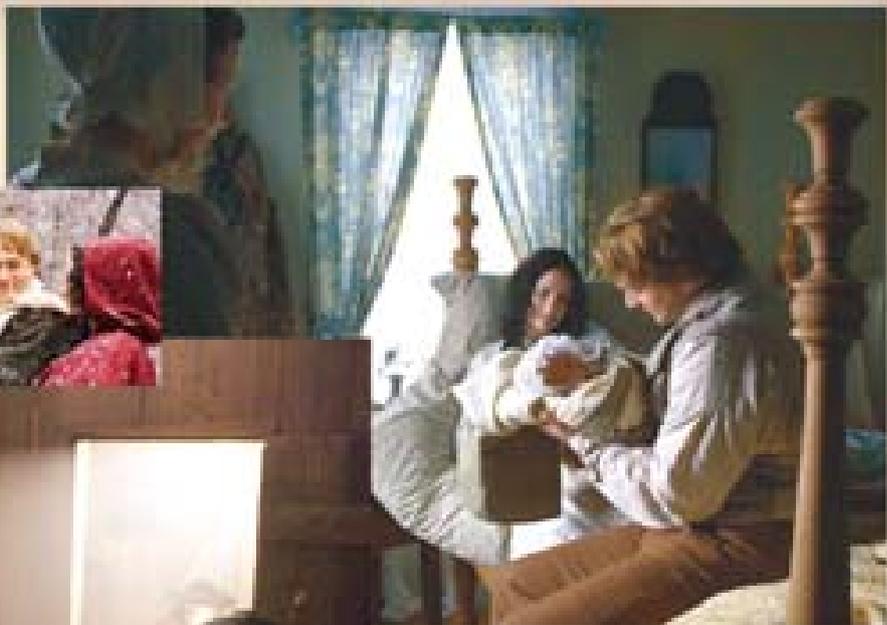
つらい手術の前に父親に慰められる幼いジョセフ(上);
兄アルビンの背中に乗る(右);
部屋に現れたモロナイから指示を受ける(右ページ);
聖書を研究する(挿入, 右ページ)







この映画は預言者ジョセフの生涯の
主要な出来事とともに、^{めいそう} 臆想にふける
霊的な面を描いています(左)。



妻エマと愛を語り合う(挿入, 左上);
子供の誕生をエマとともに喜ぶ(上);
下劣な話をする看守を叱責する(左);
クモラの丘から金版を取り出す(左下);
リバティーの監獄で苦悩する(下)。



左—写真/クリスティーナ・ミス。右—写真/シモン・ルーク

『ジョセフ・スミス——回復の預言者』の

制作

常人の一生に収まり切らないほどの偉業を成し遂げた人物の生涯を、68分で描けるでしょうか。この映画でそれができたのは、長年にわたる入念な計画、熱心な準備、祈り、さらに、映画制作会社には通常得られない助けがあったからです。映画『ジョセフ・スミス——回復の預言者』の制作に携わった人は証言することでしょう。人間の力を超える助けがなければ成し遂げられなかった、と。主演の選考にしても、悪天候の中で撮影予定の2日間だけ天気が完全に回復したことにしても、そのような助けがあったのです。

このようにして完成した映画は、預言者ジョセフ・スミスを人間味あふれる人物として、また天の導きを受け、その導きに従って人々を導く、驚くべき能力を持った人物として描くことに成功しました。

映画の制作には、以下のような周到な調整と計画が必要でした。

- 数か月にわたって行われた撮影。ロケ地は、

ノーブー、ニューヨーク州北部、オタワ近くの歴史的に有名なアッパー・カナダ・ビレッジ、リンカーンが青年時代を過ごしたニューセーラム(イリノイ州スプリングフィールドの近くにある)、ミシシッピ川、イギリスのマンチェスター、ユタ州プロボのプリガム・ヤング大学近くにあるLDSモーション・ピクチャー・スタジオなど。

- メーンキャスト約40人。制作スタッフ100人以上。地元エキストラ(幾つかのシーンでは最大300人)。さらにロケ地でのメイクアップやヘアメイクなどのために大勢の地元の人々を雇用した。

- 徹底的な時代考証により、1800年代初頭の衣服を忠実に再現した。

- 映画は大管長会の指示の下、教会視聴覚部が制作し、2005年12月17日(ジョセフ・スミスの生誕200年の1週間前)に、テンプルスクウェアのジョセフ・スミス記念館にあるレガシー劇場で封切られた。■

裏方として働いた制作スタッフ。

撮影チーム、メイクとヘアメイク担当(左と右下)。

雪をまいてノーブーの冬の場면을演出(右)。

スタジオ内に作られた狭い独房のセット(下)。



引き延ばし



取りかからなければ、いつまでも……
(教義と聖約60:13参照)

質疑応答

「宗教が異なる友人にモルモン書を紹介するいちばん良い方法は何でしょうか」

『リアホナ』からの提案

モルモン書を紹介するいちばん良い方法は御霊の導きを求めて祈り、それに従うことです。つまり、友人によって方法は異なってくるでしょう。

モルモン書を紹介するために自分を備えるには、モルモン書の序文を読むとよいでしょう。モルモン書のあらましをつかむことができますし、あなたの友人に説明するときに見える言葉が書かれています。

モルモン書がどのようなものか友人が知らない場合は、簡単に説明してください。イエス・キリストのもう一つの証であり、アメリカ大陸に住んでいた預言者たちによって書かれた聖典であると述べてください。また、モルモン書は現代の人々のために書かれ、預言者ジョセフ・スミスにより翻訳されたことを説明するとよいでしょう。そして、モルモン書についてのあなたの証を述べてください。

モルモン書を渡した後、読み始めるように友人に勧めてください。最初に読みやすい箇所を幾つか提案するとよいでしょう。宣教師はよ

友人に
モルモン書を紹介する
いちばん良い方法が
分かるように、
導きを祈り求めてください。

モルモン書について研究し、
祈ることにより、
自分自身を備えてください。

モルモン書について
簡単に説明し、
読み始める箇所を
幾つか提案し、
モルモン書についての
自分の証を述べてください。

手もとに
モルモン書がなければ、
パス・アロング・カード
または
<http://www.mormon.org>
(訳注—日本語では、
<http://www.ldschurch.jp>)
を通して
無料でモルモン書を
手に入れることができます。

く、序文と第三ニーファイ第11章、モロナイ書第10章3節から5節を読むように勧めます。あなたの好きな聖句を分かち合い、あなたにとってどのような意味があるかを説明するのもよいでしょう。

手もとにモルモン書がない場合には、教会のウェブサイト <http://www.mormon.org> (訳注—日本語では、<http://www.ldschurch.jp>) を紹介するか、パス・アロング・カードを上げてください。ウェブサイトで申し込めば、モルモン書を無料で手に入れることができます。郵送でも宣教師からでも、好きな方法で受け取れます。

モルモン書を人々と分かち合うことは大切です。なぜなら、モルモン書はキリストについて、また福音の回復について証しているからです。ゴードン・B・シンクレイ大管長は最近、このように述べました。「モルモン書は神の賜物と力によりもたらされました。それは、地から叫ぶ声のように、神の御子を証しています。イエス・キリストの降誕、教導の業、十字架の刑と復活、またアメリカ大陸のバウンティフルという地に住んでいた義人たちに御姿を現されたこと



について書かれています。

モルモン書は手に取り、読み、そして試してみることでできる、形あるものです。その中には神からの約束が書かれています。何百万という人がそれを試して、真実の神聖な書物であることを知りました。」「神が啓示された偉大な事柄」『リアホナ』2005年5月号、81-82)

何百万という人がモルモン書を読んで祈り、それが真実であると分かりました。あなたの友人にも試してみるように勧めてください。

読者からの提案



わたしはいつもモルモン書を紹介したいと願っていましたが、理想的な方法は見当もつきませんでした。

そのうちに、福音の教義に対して確信が持てるようになり、イエス・キリストに従うときに感じる喜びを皆と分かち合いたいと願うようになりました。そのとき初めて、モルモン書を人に渡すには、自分を含め人の生活にモルモン書をもたらす変化について証を述べる必要があると気づきました。仲の良い友達には、わたしたちの生活ぶりから、その証が

真実であるということが分かるでしょう。そして、友達もその証を得たいと願うようになるでしょう。

ジジラ・M, 21歳, モザンビーク



以前、宗教が異なる友達の誕生祝いがありました。わたしはモルモン書をプレゼントしようと決めました。モルモン書に、この本はわたしにできる最も貴重な贈り物ですと書き、包装紙で包みました。すると、友達は好奇心を持ち、すぐに読み始めました。

マルクス・A, 16歳, ブラジル

モルモン書を人に紹介するのは怖い気がしますが、前もって御霊の助けと導きを祈り求めるなら、物事はうまくいくと思います。わたしは最近4冊、人に渡しました。わたしの好きな聖文(モロナイ10:3-6を含む)に赤鉛筆でしるしを付け、そのページが分かるようにカードを挟みました。そうすれば、受け取った人はどこから読み始めればよいか分かるからです。500ページ以上(訳注—英文)もあると、人はおじけづいてしまいます。また、わたしはたいてい、モルモン書に出てくる人はヨハネによる福音書第10章16節でキリストが言われている「他の羊」であると説明します。そして、自分の証を述べて渡します。

レベッカ・C, 17歳, アメリカ, イリノイ州



まず、イエス・キリストは救い主であられ、聖書は神の御言葉であると信じていると友人に述べ、共通の価値観や考えを見つけてください。それから、モルモン書と呼ばれるもう一つの聖典を信じていて、モルモン書もイエスがキリストであられることを証していると話してください。詩篇第85篇11節、イザヤ書第29章11節から12節、エゼキエル書第37章15節から17節、ヨハネによる福音書第10章16節など、聖書の中にモルモン書について述べられている箇所を一緒に読むこともできます。

クリストファー・W, 16歳, アメリカ, カリフォルニア州

わたしにとってモルモン書を紹介するいちばん良い方法は、学校でも休みのときでも、いつも聖典を持ち歩くことです。モルモン書を読んでいると、だれかに紹介できる機会が訪れます。わたしが何を読んでいるか知りたがるからです。この方法はとてもうまくいきました。二人の友人からモルモン書が欲しいと言われたのです。神はただ一つの民だけでなく、すべての人を忘れずに覚えておられることを、友人たちに理解してもらえるようにしています。

マチルデ・C, 18歳, ペルー



伝道したいという 気持ちがあり、 それについて

祈るならば……

隣人にモルモン書を
紹介する方法について
靈感を受けることが
できます。……
一人一人が持っている
最高の可能性に応じて
できる最善の方法を
見つけましょう。

七十人会長会
チャールズ・ディディエ
「心から教える」
「リアホナ」2004年6月号、
13参照



モルモン書をプレゼントする良い方法は、次のように言うことです。「アメリカ大陸に住んでいた人々の歴史が書かれた本をプレゼントします。」そして、モルモン書を大切に思う自分の気持ちをモルモン書に書きます。また、モルモン書は靈感を受けて書かれた書物であることを友人が分かるように、主に助けを求めます。

アナ・B, 15歳, ブラジル

聖書と一緒にモルモン書をプレゼントしてください。そうすると、モルモン書がキリストについてのもう一つの証であり、二つの書物は互いに補いつ合っていることを説明できます。また、キリストがアメリカを訪れられ、モルモン書に主の訪れに関する記述があるおかげでキリストの生涯をよりよく理解できることを説明できます。わたしはこの本が真実であり、生活の中で助けとなっていること、また友達にとっても助けとなることを知っています。

キャシー・U, 17歳, フランス

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

あなたの意見を聞かせてください

青少年の読者の皆さんへ——下記の質問に対する意見を、氏名、生年月日、ワードおよびステーク(または支部および地方部)を明記のうえ、写真(親が書いた、写真掲載の許諾書も同封してください)を添えて、郵送か電子メールでお送りください。

あて先——Questions & Answers 7/06
50 E. North Temple St. Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA
電子メールアドレス——

liahona@ldschurch.org

2006年7月15日必着で送付してください。

質問

「わたしは教会へ戻って来ました。これまでに幾つか過ちを犯しましたが、生活をやり直そうとしています。でも再び同じ過ちを犯すことを恐れています。このような恐れを克服するにはどうしたらよいでしょうか。」■

慈善を實踐し、 助けを必要としている人を養う



以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んでください。自分の経験や証を伝え、あなたが教える人々にも同様に分かち合うように勤めてください。

扶助協会に所属する祝福——扶助協会のモットー「愛はいつまでも絶えることがない」にのっとり、姉妹たち一人一人が生活のあらゆる面でキリストの純粋な愛をはぐくみ、実践するように勧められています。家族やワード、地域社会の中で、人を養い、世話するようにも勧められています。

慈愛とは何でしょうか

モロナイ7：47——「慈愛はキリストの純粋な愛であって、とこしえに続く。」

十二使徒定員会会員 マービン・J・アシュトン(1915-1994年)

——「慈愛とは病気の人を見舞ったり、助けの必要な人に食物を届けたり、物質面で不自由している人々に余ったものを施したりすることであると考えがちです。しかしほんとうの慈愛は、それ以上のものです。」

ほんとうの慈愛は、人に渡すものではなく、自分の身に付くものです。この慈愛という徳が心に深く根付くと、二度と元の自分に戻ることはありません。……

恐らく最も大いなる慈愛は、互いに親切にし、人を裁いたり格付けをしたりせず、相手の言動を良い方向に受け止め、口を慎むときに示されるのではないのでしょうか。慈愛とは、人の相違や弱点、欠点を受け入れ、自分を落胆させた相手に忍耐し……衝動的に人の感情を損なわないよう、自分を抑えることです。……慈愛とは、人の弱点に付け込むことをせず、自分を傷つけた人を進んで赦すことです。そして、相手の最も良い点に心を向けることです。」(「舌は鋭い剣となる」『聖徒の道』1992年7月号、20参照)

モロナイ7：48

——「この愛で満たされるように……熱意を込めて御父に祈りなさい。」

どうすれば慈愛を實踐し、助けを必要としている人を養うことができるでしょうか。

中央扶助協会第二副会長 アン・C・ピングリー——「アルマが証したように、『小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられる』と証します[アルマ37：6]。家庭において、小さな簡単なこと、すなわちわたしたちが日々行っている慈愛の行為は『わたしがここにいます。わたしをお遣わしてください』という信念を宣言します。この世から永遠にわたって最も偉大な慈愛の行為は、イエス・キリストの贖いであったと証します。主はわたしや皆さんの罪を贖うために、進んで命をささげられました。わたしは主の大義に心から献身し、主が召されるのであれば、どこであろうと常に主に仕えたいと望んでいます。」(「慈愛——家族単位、家庭単位による行為」『リアホナ』2002年11月号、110参照)

大管長 ハワード・W・ハンター(1907-1995年)——「皆さんの大きな影響力を用いて、善を推し進め、家族、教会、地域社会を強めてくださるよう、切にお願いします。……」

キリストに従う人々は、その模範に従おうとします。わたしたちは、自分自身の罪や短所、悲しみ、病のためにキリストが苦しみを受けられたことを思うとき、キリストと同じように、慈愛と哀れみをもって周囲の人に手を差し伸べようという気持ちを抱くでしょう。世界で最も長く続いている女性組織である、末日聖徒イエス・キリスト教会の扶助協会のモットーが、『愛はいつまでも絶えることがない』であるというのは、とてもふさわしいことです。」(「信仰を持ち、堅く立つ」『聖徒の道』1995年1月号、110参照) ■



答えはその本の中に

マイルズ・T・トゥアソンが
アンドリュー・コンファーから聞いた話

「コンファー長老、教えてください。」電話の向こうの声がありました。「でも、モルモン書以外のことにしてくださいね。」新しく福音を学び始めたクリスティーン・ヨンが、この宗教についてもっと知りたいと思っているのです。

わたしはシンガポール伝道部の宣教師として奉仕していました。わたしと同僚は、クリスティーンのように福音を学びたい人がいることに心を弾ませ

ていました。クリスティーンと妹のサラは、福音に対してほんとうに関心を抱いているようでした。しかし、何週間か福音を教えていくうちに、二人はジョセフ・スミスとモルモン書に疑問を持つようになったのです。それでもわたしたちはあきらめず、また会う約束をしました。

わたしは支部の伝道主任のパトリック・リムと出かけました。同僚は、別の会員とほかの約束に行きました。リム兄弟とわたしは、クリスティーンに、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物について教えることにしました。いつもなら、バプテスマについて話すときには、バプテスマを受けるように勧めます。けれども、クリスティーンには克服しな

ければならない課題が山積みになっていることを考えると、彼女がバプテスマを受ける備えができていかどうか、二人とも疑問を感じていました。わ

たしたちは、クリスティーンに会う前に御霊がともにあるように祈りました。

クリスティーンはその日、福音を学んでいくうちに、悔い改めとバプテスマについて理解したようでした。しかし、リム兄弟が聖霊の賜物を受けることについて教えると、クリスティーンは抱いていた心配事を口に出しました。

「長老、神様がおられるかどうか分からないし、わたしの祈りにほんとうにこたえてくださるのかも分からないわ。」躊躇しながらも、疑念を抱いていることを認めたのです。

わたしたちは、御霊がもたらす穏やかで平安な気持ちについて説明しました。しかし、聖霊のもたらす影響力は、クリスティーンにはなじみのないものでした。それまで、祈り、聖文を読んできたのですが、御霊を感じたことがなかったのです。

しばらくの間、何と答えたらよいか言葉が見つかりませんでした。そのときです。頭の中に聖句が浮かんできました。その聖句と一緒に読むべきであると感じました。それがクリスティーンが聞きたくないと言っていたモルモン書の聖句であるにもかかわらずです。わたしは、クリスティーンにエテル書第12章6節を読むように頼みました。「信仰とは待ち望んでいながらまだ見ていないものであることを、世の人々に示したい。あなたがたは、自分が見ていないからということで疑ってはならない。信仰が試されてからでなければ、証は得られないからである。」

天の御父から答えを受ける前に、主に対するわたしたちの信仰が試されると説明すると、心の中に御霊を強く感じました。わたしはクリスティーンにも感じられるようにと祈りました。そして、クリスティーンも感じたのです。

「とても感動しています。ほんとうに、とても感動しています。」涙があふれ、クリスティーンの頬を伝いました。





「それが御霊ですよ、クリスティーン。それが御霊を感じるということです。」そう言ったリム兄弟とわたしの頬にも、あふれた涙がこぼれ落ちました。

この聖句を読んだ後も、クリスティーンは続けて学びました。そして、わたしたちの勧めを受け入れ、間もなくバプテスマを受けました。■

転機

エルズワース・ギレット

わたしは、中央アメリカの国、ベリーズで育ちました。教会員でしたが、いつも忠実に主に従っていたわけではありません。わたしの家族はベリーズでの初期の改宗者です。わたしたちは幾つもの試練に遭いました。父は、3人の子供と仕事をしてない母とを置いて、家を出てしまいました。

主に対する母の信仰によって、わたしたちは試練に打ち勝つことができました。母は一生懸命に働いて家計を支え、また、わたしたちを主のもと

に導こうと努力しました。しかし、自分の証は自分で得なければなりません。一時期、わたしは誤った道を選択していました。その原因の大部分は、一緒にいた仲間の影響です。仲間に感化されて、主に近づく代わりに、主から離れていったのです。

そんなわたしに転機が訪れたのは、ほとんどの時間を教会の青少年と過ごすようになったときでした。彼らはとてもはつらつとしていました。おかげでわたしは、それまでに感じたことのないような喜びを感じました。友達が主に仕えるために伝道に出るのを見てみると、ますます生き生きとしてきます。

伝道に出ようとは、それまで考えてもみませんでした。けれども、伝道に出ることが自分の進むべき道かどうかを知りたくて、祈って主に尋ねることを決意しました。そして祈ったとき、心には切れんばかりの聖霊の力を感じたのです。それまでに一度も感じたことのない、すばらしい力でした。こうして、伝道に出ることが自分にとって正

しい道だと悟ったのです。わたしは支部長と話し、霊的にも経済的にも準備をして、やがて専任宣教師として奉仕しました。

わたしは今、次の事柄を一片の疑いもなく知っていると言えます。この教えはイエス・キリストの回復された福音です。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は生ける預言者、聖見者、啓示者であり、御言葉^{みことば}を宣言してすべての人を天の御父の羊の群れに導くために、神によって召されました。モロナイが述べているように、人は、モルモン書を読み、心の中で深く考え、祈る必要があります。そうするならば、心の中に尋ねた問いに対する答えが与えられるでしょう(モロナイ10:3-5参照)。■

神聖な事柄に対する



七十人会長会
R・トッド・クリストファーソン

教会や神聖な儀式では、自分が大切な存在だからでなく、そこで行われる事柄が大切なので、きちんとした服装をします。

少し前に、アメリカ国内のある州から一人の若い女性が来て、親戚の家で数週間暮らすことになりました。初めての日曜日に、彼女は控えめで、上品なブラウスに、ひざを覆う丈のスカート、明るい色のきちんとしたセーターを着て教会に出席しました。ストッキングと正装に合う靴を履いて、髪はくしですっきりと、しかし丁寧に整えていました。全身から若々しい美しさがあふれていました。

残念なことに彼女は教会に足を踏み入れた瞬間、自分が場違いな服装をしていることに気づきました。同年代の若い女性はまるで全員が普段着のようなスカートで、しかも極端に丈の短い女の子もいました。上にはTシャツのような、体にぴったりとした、かろうじてウエストに届くほどの丈のものを身に着け、さらに靴下もストッキングも履かず、不恰好な運動靴やサンダルを履いていました。

新しくやって来た少女の姿を見て、ほかの少女は自分たちの服装が礼拝堂や安息日にどれほどふさわしくないかに気づいて、すぐに改めたらよかったと思うでしょう。でも残念ながら、少女たちは改めようとせず、訪問者の方がみんなから受け入れてもらうために、そのワードの流行を取り入れたのでした。

これはわたしの懸念を示す一つの例にすぎません。社会全体について言えば、わたしの世代の多くの人は、神聖なものを敬う心を皆さん

の世代に正しく伝えてこなかったのではないかと思います。この場で、皆さんが神聖な事柄を見分けて、聖なるものすべてに敬虔な思いをもって対応する力を増し加えられるようにお手伝いしたいと願っています。敬虔さを示すべき対象には聖典、預言者、肉体、神など数多くある中でも、神聖な場所と時に敬意を払うことを採り上げましょう。

わたしが伝えたいことの多くは、人から人に手渡しできるものではありません。心の中で芽生えるものです。しかし、皆さんが考える手助けができれば、御霊が皆さんの内部で働き、何が神聖かあるいはどう振る舞うべきか、人から指摘される必要はなくなってきます。自分で感じ、自分の一部となるのです。皆さんはもう、その大部分を自分のものとしています。

日曜日の晴れ着

神殿と集会所は主にささげられた神聖な場所です。神殿にはいずれも「主の宮居——聖きを主に捧ぐ」という言葉が記されています。神聖な事柄を正しく認識することによって、これらの建物の内外で敬虔な思いをもって行動し、話すようになります。そこへ入るための服装も似つかわしいものとなります。

慎みのない服装は、神の最も聖なる創造物である肉体を汚します。神聖な時と場所で慎みのない、くだけた、だらしない服装と身なりをすると、主の宮とそこで行われている事柄の神聖さをあざけることとなります。

何年も前に、わたしがいたテネシー州のワー

け い け ん
敬虔さ



皆

さんは
大いなる
末日の
神権時代の聖徒です。
それらしく見えるように
してください。



ドは高校の校舎を借りて日曜日の集会を開いていました。礼拝堂が竜巻で壊れ、修理していたためです。別の宗派の人々も同じ高校で礼拝行事を開いていました。新しい礼拝堂を建築していたからです。

この人たちが教会に着て来た服装を見て、わたしは衝撃を受けました。スーツやネクタイ姿の男性はいませんでした。ゴルフコースから帰って来たばかりか、これから行くかのような服装でした。女性といえば、普段着のズボンかショートパンツを身に着けている人ばかりで、スカートやワンピースを着ている人はいませんでした。彼らが教会の集会のために高校へ来たことを知らなかったら、わたしはスポーツ行事でもあるのかと思ったことでしょう。

対照的に、わたしたちのワードの会員の服装は非常に好ましいものでした。けれども今では、わたしたちが標準をいよいよ下げるにつれ、世の中と大きな違いがあるとは言えなくなってきたと考えています。かつては「日曜日の晴れ着」という言葉を使い、最上の服装をするという意味は理解されていました。文化の違いや経済的な事情から実際に着るものは異なるとはいえ、着ていた服はその人にとって最上



のものでした。

できる範囲で配慮の行き届いた上品な装いをしないまま、主の聖日に主の宮を訪れるなら、神を侮辱することになります。ペルーの山岳地帯に住み、川を渡って教会へ行かなければならない会員の白いワイシャツに泥水の染みが付いていたとしても、主はもちろんとがめることはなさらないでしょう。しかし、必要以上の衣服をことごとく手に入れ、簡単に礼拝堂に行ける人が、作業着のようなよれよれのズボンとTシャツで教会にやって来るのを見ると、神はどれほど心を痛められることでしょうか。

世界中を旅して目にしてきたのは、持てるものが少ない教会員ほど清潔で上品な、自分の持っている最上の服を身に着けて安息日の集会に出席するのに対して、いいかげんなだらしない服装で現れるのは、有り余るほどのものを持つ会員だということです。

身なりは大切です

服や髪型ではなく、大切なのは心だと言う人がいます。大切なのは人の内側だということはわたしも信じているのですが、心配しているのもまさにそのことなのです。聖なる場所や行事に普段着で参加することはその人の内側を表しているのです。高慢さや反抗心、あるいは何かほかの理由かもしれませんが、少なくともその姿そのものが「分かりません、神聖なものと汚れたものの区別がつきません」と言っているのです。

そのような状態では、心は簡単に主から離れて行きます。自分の持っているものの価値が分かっていないのです。わたしはそのような人たちを心配しています。彼らは理解して、神聖な事柄に対する意識を持たないかぎり、最終的に最も大切なものまでも失う危険にさらされています。皆さんは大いなる末日の神権時代の聖徒です。それらしく見えるようにしてください。

この原則は、バプテスマや確認の儀式、聖

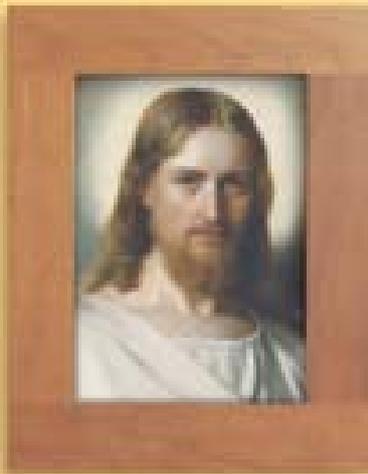
任、病人の祝福、^{せいさん}聖餐の執行など、神聖な行為、敬意を払うべき事柄に当てはまりません。教義と聖約には神権の儀式において「神性の力が現れる」と記されています(教義と聖約84:20)。ネクタイと(可能なかぎり白い)ワイシャツ姿で聖餐を執行する祭司、教師、執事を称賛します。彼らは、神と儀式の価値を認め、敬意を表しているのです。

最近ある男性の手記を読みました。その男性は、自分たちの組織をたたえる公式の催しに出席する際にスーツとネクタイを着用するよう、同僚たちに強く勧めました。その会は宗教と関係のない一般の集まりで、神聖というたぐいのものではありませんでした。しかし、敬意を表すべきものがあり、服装はそれを表現する一つの方法であるという原則を、この男性は理解していました。彼は「自分が大切な存在だからでなく、その催しが大切だから」きちんとした服装で出席しようと思ったと書いていました。彼の言葉には大切な真理があります。つまり、自分自身のためではないのです。振る舞いと服装で神聖な儀式と場所を敬うのは、神のためなのです。

敬虔であることの祝福

神聖な事柄に対して抱く敬虔の念が深まると、御霊を度々感じるようになり、次に常に^{はんりょ}伴侶とすることができるようになります。そして理解は深まり、真理を悟る力は強められます。聖文はそれを、光が「ますます輝きを増してついには真昼となる」と表現しています(教義と聖約50:24)。この過程は恵みに恵みを加えられて進歩するとも描写されています。救い主はこの方法で進歩し、ついに完全を受けられました。皆さんは主の足跡に従うことができます(教義と聖約93:12-20参照)。これは神聖な事柄に対する意識が導いてくれる段階です。

一方、聖なるものは、正しく認識しなければ、なくなってしまう。敬虔な思いが欠如していると、考え方が次第にいかげんになり、振る舞いがだらしくなっていきます。神と交わした聖約によって与えられる安全な土台から離れ、神に報告するという義務感は薄れ、やがて忘れてしまいます。そうな



振る舞いと服装で
神聖な時と場所を
敬うとき、
主に敬虔さを示しています。

ると、自分の楽しみだけに心が向き、欲望を果てしなく追求するようになります。最終的に、神聖なものだけでなく、神さえも軽んじて、さらには自分をも大切にしくなくなります。

神聖な事柄を注意して扱う

常に忘れてはなりません。聖さは内側で増していくものであり、皆さんは大いなる知識と理解が託されているので、それを注意して扱わなければなりません。主は言われました。「上から来るものは神聖であり、それについては注意して、御霊の促しによって語るようにしなければならない。」(教義と聖約63:64) 主はまた、豚の前に真珠を投げたり、聖いものを犬に与えたりしてはならないとも命じられました(3ニーファイ14:6;教義

と聖約41:6参照)。これは、その真価を理解する準備のできていない人に神聖な事柄を話してはならないという意味です。

主から頂いた事柄に対して、賢明であってください。主の信頼がこもっているからです。例を挙げると、祝福師の祝福の内容をだれかれなしに教えはしないでしょ。

神聖な事柄、聖なるものはすべて、この最後の最も素晴らしい神権時代に明らかにされ、一つに集められるべきものです。福音、教会、イエス・キリストの神権が回復されたことにより、わたしたちは計り知れないほど多くの神聖な事柄を手に入れます。それらを軽視したり、逃したりすることはできません。

ずるずると不注意に流されていくのではなく、いっそう従順な生活を築き上げることができるようになります。皆さんが、考え方、感じ方、服装、行動を整えて、神聖な事柄、神聖な場所、神聖な時に対して、敬虔な態度と尊敬の念を示すことができるよう願っています。神聖な事柄に対する敬虔さが天からの露のように皆さんの心に滴ることを祈っています。それによって、かつて死を受けて復活し、今も生きておられる贖い主イエス・キリストに近づくことができますように。主が皆さんを御自分のように聖い者としてくださいますように。■

2004年11月7日、衛星放送による教会教育システムファイヤサイドにおける説教から。

慎み深い服装の 大切さ

今の世にあって慎み深い服装をすることは難しいことです。このテーマについて、教会員が次の質問に答えてくれました。

「どうすればいつも慎み深い服装ができますか。」

「家庭やワード、支部、ステーク、地方部で、どのように慎み深い服装を奨励してきましたか。」

「慎み深い服装の大切さについて何を学びましたか。」



について分かっただけでなく、良い影響を与えられることが楽しみになりました。

アメリカ合衆国オハイオ州、チェルシア・アンダーソン

「慎み」ファッションショー

2004年の10月、ステークの若い女性と若い男性で「慎み深い着こなし」というイベントをしました。それは小冊子『若人の強さのために』を基にしたファッションショーです。カジュアルウェア、スポーツウェア、フォーマルウェアの3部門に分けて行いました。わたしたちは、若い男性、若い女性一人一人に各部門に1着ずつ選ぶように言い、ふさわしい服を選ぶように助けました。指導者と両親にも参加してもらいました。そのとき強調したのが、体は神の宮であるという聖句(1コリント6:19-20参照)と、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の勧告でした。この活動から良い成果が得られました。今、ステークの若人は適切な身だしなみと服装についてもっと気を配るようになっていきます。

メキシコ、テレサ・デ・ヘスス・コントララス・デ・ラミーレス

どんな人になりたいか

数年前のある出来事を通して、慎み深い服装に対する考え方が変わりました。ミューチャルに行くのに、ショートパンツをはいてしまったのです。不適切だとは思ってもみませんでした。その火曜の活動には、宣教師から伝道に実際に役立つアドバイスを聞く時間がありました。わたしの隣の席は、最後まで空席でした。長老たちはだれがそこに座るか、しばらく小声でもめていました。はっきり口にしませんでしたが、彼らが居心地悪そうにしているのはわたしの服装のせいだと分かりました。

そのときは恥ずかしい思いをしましたが、おかげで慎み深い服装の大切さについて理解し始めました。高潔な若い男性を居心地悪くさせていたことに気づきました。反対に、不道徳な男性を居心地よくさせすぎていたのかもしれませんが。自分はどんな人と一緒にいたいのか理解し始めました。そして何よりも、自分はどんな人になりたいのかが分かりました。その日以来、身に着ける服によって周りに影響を与えること

慎み深さを保つ秘訣^{ひけつ}

今の世の中で慎み深くあることは、特に10代の女の子にとっては、間違いなく難題です。わたし自身が10代ですから、そのことをよく知っています。でも、慎み深さと流行のスタイルは両立可能です。役に立つ秘訣を紹介しましょう。

● いろいろな色の長めのタンクトップを買ってそのすそをズボンの中に入れば、短めのシャツを着てもおなかが見えません。



慎重さと流行

若いころ、学校の友達と同じような格好をしたと思っていました。慎重なものを着てほしいという母の願いにはしぶしぶ従っていました。でも今は母に感謝しています。母は標準をはっきり教え、模範を示してくれました。今では、慎重な服装の大切さについて自分の証があります。服装において慎重さと流行を両立させることは、ほんとうに可能なのです。

スイス
ロベルタ・
エッゲンベルガー



慎み深い服装 に対する証

教会に入ってから少しずつ、慎み深い服装をしなければならない理由が理解できるようになりました。今では、慎み深く身だしなみを整え、純潔の輝きに満ちた目をしている人を見ると、深い尊敬の念を覚えます。慎み深い服装をすることがいつも簡単であるとは限りませんが、神は努力する人を必ず助けてくださいます。

ウクライナ
オルガ・クリブコ

きちんとした服を着て、身だしなみを整え、適切に肌を覆っているときに、わたしたちは天の御父の前にへりくだり、尊敬の念を表しているのだと信じています。

フィリピン
シャーリーン・チェリー

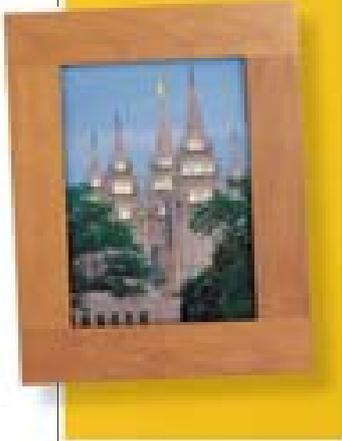


- 短いシャツのすそに布を縫いつけます。
- 綿素材のシャツは普段より1サイズ大きいのを買えば、洗っても、きつくなりすぎたり、短くなりすぎたりすることはありません。
- 夏に男性用の長めの半ズボンを買います。
- ワンピースの上半身が慎みに欠けるときは、上を切り捨てて、下半分でおしゃれなスカートを作ってはどうでしょう。スカートができたなら、それに合う上の服を見つけます。

- 正式なダンスパーティーなど、特別な行事のための買い物は早めに始めます。時間に余裕があると、慎みのないドレスで妥協するように誘惑されることもありません。

慎み深い服装なんてとても無理だと、あきらめてしまう若い女性がたくさんいます。でも、やってみればできるものですよ！

アメリカ合衆国ネバダ州、ジャミー・エルスモア





誘惑から身を守る

「慎み深い服装と
振る舞いは、誘惑から
身を守る助けとなり
ます。慎み深い服
を見つけるのは難し

いかかもしれませんが、十分に努力すれば見つかります。……皆さんは慎み深さを捨てなくても魅力的でいられます。……確固とした制限、すなわち皆さんが越えることのない境界線を設けてください。」

大管長
ゴードン・B・ヒンクレー
「気高い道にとどまる」
[リアホナ]2004年5月号, 114

わたしはニーファイ第一書第3章7節にある次の言葉を引用しました。「わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それだけでなく、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。」ニーファイのこの信念は、何か大きなことだけでなく、日常のささいなことにも当てはまると約束すると、娘たちは折ってみると言いました。それから

1週間しないうちに、思わぬ場所で、手直しすれば着られるすばらしいドレスが見つかりました。

以来わたしたちは、慎み深さとは祈りの対象であると考えています。たとえ遠くまで運転することになろうとも、棚にある商品見本を全部チェックすることになろうとも、大幅な手直しが必要になろうとも、御霊のささやきに従うようにしています。どんな苦勞もいとわずに慎み深さを尊重していることを、娘たちに知ってほしいのです。

アメリカ合衆国カリフォルニア州、ジェリー・ジェーコブズ

毎日思い起こします

わたしの洋服だんすには、救い主の絵とイギリス・ロンドン神殿の写真がはってあります。たんすを開けて洋服を取り出す度に、将来神殿で礼拝ができるように、清い生活を続け、慎み深い服装をしなければならないことをいつも思い出します。

イギリス、キャロリン・ベアリー

体にぴったりする服も

慎み深くありません

慎みのない格好とは肌の露出の多いことだと考えている人が多いようですが、たとえ体全体が覆われていたとしても、体にぴったりする服では慎みがありません。これは女性だけでなく、男性にも言えます。体にぴったりした服は、体に注目を集めるので、教育や仕事、指導、礼拝の目的から気持ちをそらします。そのことを理解していない人がたくさんいます。ある程度ゆったりした服を着ていれば顔に注意が向くので、もっと効果的なコミュニケーションができます。

アメリカ合衆国ユタ州、ジュディス・ラズバンド

体は主の宮

わたしの住んでいるブラジルのバヒアはとても暑く、慎み深い服装をすることが少し難しいです。でも、御霊を招くような服装をすると、特別な感じがします。わたしは、体は神の宮であって、尊敬の念をもって扱わなければならないことを知っています。

ブラジル、ステファン・セルケイラ・レビータ

祈るべき事柄

二人の娘を連れてダンスパーティーのドレスを買いに出かけましたが、3人ともがっかりし、疲れ切って、泣きたい気持ちで帰宅しました。慎み深いドレスを1着も見つけることができなかったのです。祈って、望んでいることを主にお伝えするようにと娘たちに言いました。服のために祈るなんて思いも寄らなかった娘たちは、げげんそうな目でわたしを見ました。そこで

パネルディスカッション

若い女性に慎み深さを奨励する方法として、若い男性とパネルディスカッションができます。わたしたちのワードではパネルディスカッションを通して、若い兄弟姉妹に福音の原則である慎み深さについて真剣に考えてもらうことができました。

パネリストとして祭司たちの参加を呼びかけましたが、若い女性が傷つくような発言をしてしまうのではないかと心配して、最初はあまり気乗りしないようでした。彼らの緊張をほぐすために、慎み深い服装についてどんなことが言えるか、意見をうまく表現するにはどうすればよいかについて、事前に集まって話し合いました。

パネルディスカッションは御霊に満たされたものとなりました。参加した若い女性は、若い男性の意見に熱心に耳を傾けていました。パネリストの一人が若い女性に言いました。



内にある美しさ

教会員になる前は、**慎み深さ**という概念を理解していませんでした。でも、バプテスマを受けて2、3か月もしないうちに、**美しさ**は1着の洋服が作るのではなく、**内側から出てくるもの**だということを知りました。わたしは、**主**が求めておられる方法で**主に仕えよう**と努力しています。

ブラジル
ホゼアンジェラ・バハット

「今後教会の集会で、**慎みのない**服装をまったく目にしなくなるようにしましょう。」友人からの忠告に若い女性はとても前向きに反応しました。

アメリカ合衆国ユタ州, ジョン・ウィルキンソン

体は賜物

高校最後の年、大学進学で家を離れる前に**証**を強めようと決心しました。救い主の生涯と**贖い**の犠牲に関してできるかぎり勉強しました。そんなある日、主から愛されているという事実に深く感動して涙が出ました。自分が確かに神に愛されている娘であることを実感したのです。そのことを心に深く理解したとき、**慎み深い**服装は、単に男性に悪い思いを抱かせないようにするためだけではないことを悟りました。**慎み深い**服装は、神が下さった非常に**尊い**賜物である「**肉体**」に感謝を表す一つの方法なのです。

教会員は、自分自身と主とを愛し**尊ぶ**がゆえに、そして主から頂いた**賜物**を尊重したい

と望むがゆえに、**慎み深く**なくてはならないことを学ぶべきだと思います。わたしは、天の御父と救い主を深く愛するようになって初めて、**慎み深さ**についての強い証を得ました。

アメリカ合衆国アイダホ州, プレンダ・パティ

インターネットの通信販売で探してみる

ある日、カリフォルニア州ロサンゼルス神殿を出たところで、花嫁に付き添う若い女性たちが**慎み**を欠いたドレスを着ているのを目にして愕然としました。でも、ほかのグループの花嫁に付き添う女性たちは、**慎み深く**、とてもきれいなドレスを着ていました。そんなドレスをどこで見つけたのかと聞くと、声をそろえていっせいに「インターネット」と答えました。インターネットの通信販売は、**慎み深い**服を手に入れる良い手段になる可能性があります。■

アメリカ合衆国カリフォルニア州

アン・エルウェル



服装は着る人の心を映す



「神の預言者はいつも神の子供たちに**慎み深い**服装をするよう勧告してきました。身に着ける服によって人柄が示されます。あなたの服装や身だしなみはあなたについてのメッセージを人々に伝え、自分や周囲の人々の行いに影響を与えます。適切な身だしなみや**慎み深い**服装を心がけるなら、御霊が常にとどまり、周囲の人々に良い影響を与えることができます。……

慎みのない服装とは、ショートパンツや丈の短いスカート、体にぴったりとした服、おなかを露出したシャツ、そのほか肌があらわになるような衣装です。若い女性は肩を覆う服を着用し、胸もとや背中が見える襟ぐりの深い服や露出度の大きい服を避けるべきです。若い男性も**慎み深い**外見を保つ必要があります。極端な服、外見、整髪はどの若い男性も避けてください。いつも身だしなみを整えて清潔にし、だらしなく、不適切な服や身だしなみ、態度は避けるようにしましょう。「主の前に出てもおかしくない外見だろうか」と自問してください。」

『若人の強さのために』14-16参照

御存じでしたか？

それは6月の出来事でした



1801年6月1日
—教会の第2代大管
長ブリガム・ヤングが
バーモント州で生まれま
した。ブリガム・ヤング
は76歳のときユタ州ソ
ルトレーク・シティーで亡くなりました。

1836年6月19日—教会の第5
代大管長ロレンゾ・スノーが、オハイオ
州カートランドの近くでバプテスマを受
けました。22歳でした。

1844年6月27日—預言者ジョ
セフ・スミスと兄ハイラム・スミスがイリ
ノイ州にあるカーセージの監獄で殺さ
れました。教会の第3代大管長ジョ
ン・テラーは、二人の殉教は『『モル
モン書』と当教会の『教義と聖約』とい
う本書が十九世紀の最も貴い血を犠
牲にしてもたらされたことを』世界中の
人々に思い起こさせるであろうと言
いました(教義と聖
約135:6)。

1850年6月
18日—当時十
二使徒定員会
員であった
ジョン・テ
ラー大管長
(1808
-1887年)
と他の宣
教師たちは、
フランス伝
道部を開く
ため、フラン
スに到着し
ました。

指導者へのヒント

モルモン書の中のヤコブ書第5章を
読んだことがありますか。真剣に読ん
だことがありますか。注意深く見てみ
ると、モルモン書の中で最も長い章だ
ということに気づくでしょう。果樹園の
主人とその僕、オリーブの木のたとえ
話が書かれたこの章には、指導者の
資質について貴重な教訓が含まれて
います。果樹園の主人の模範
に注意を払いながら、もう一
度ヤコブ書第5章を読んでみ
てください。この主人がどの
ような指導者であるかよく調
べてください。彼の辛抱強さ、
進んで助言を聞こうとする態
度、周りの人への愛情に注目
するならば、果樹園の主人から
学ぶべき教訓をあなたはすで
に学び始めているのです。

「へりくだり、
心を込めてささげる
わたしたちの祈りは
聞き届けられ、
答えを受けることを
証します。
これは奇跡のようですが、
現実なのです。」

大管長
ゴードン・B・ヒンクレー
「へりくだり悔いる心」
[リアホナ]2001年1月号,103

スコットランドの青少年、パレードに参加する

スコットランド・ダンディーステークのダンディー第2ワード
とダンディーピンガムワードに所属する24人の青少年が、ダ
ンディー市長が主催する
第1回青少年パレードに
参加しました。この催し
は、ダンディー市に住む
青少年の中から、その際
立った才能と市民への
貢献を表彰するもので
す。1,000人以上の青少
年に参加しました。



パレードが町を通り過ぎた後、市長が集まった人々に向け
て演説をしました。その後、青少年たちは、サッカー、ホッ
ケー、チアリーディング、テコンドー、バトンなどを披露しました。

ダンディー市の若い男性
と若い女性は、この歴史
的な催しに教会の代表
として参加する機会が
あったことに胸を躍らせ
ました。そして今後も毎
年この行事に参加しよう
と計画しています。



ともに学び、

楽しもう

ポール・バンデンバーグ

教会機関誌

アルティプラノは、ボリビアとペルーの境にあるアンデス山脈の高原です。そのさらに高い場所にチチカカ湖があります。大きな船が航行できる湖としては世界でいちばん標高が高く、海拔1万2,500フィート(約3,800メートル)に位置します。また、そこはアメリカ古代文明の一つであるインカ文明発祥の地とも言い伝えられています。インカ文明の創始者たちは太陽から地上のチチカカ島に送られて来た、とされているのです。

湖の水温は華氏51度(摂氏11度)でほとんど一定しており、泳ぐにはひんやりとして気持ちがいいと言えなくもないのですが、バプテスマを受けるにはかなり冷たい温度です。しかし、16歳のロベルト・カルロス・コンドリ・パチュリが去年バプテスマを受けた場所は、このチチカカ湖でした。時折、ボリビアのエルアルトの村では集会所のバプテスマフォントに張る水

が足りないことがあり、会員たちは湖へ向かうのです。ロベルト・カルロスはバプテスマを受けたときのことをよく覚えています。しかし、それは水が冷たかったからではありません。教会の会員になったときに感じた温かい気持ちのためなのです。

ロベルト・カルロスは、15歳の友達、ホセ・ルイス・ママニ・カリによって教会に導かれました。ロベルト・カルロスはこう述懐しています。「初めてセミナーに来たときは少しびくびくしました。それまでどんな教会の建物にも入ったことがなかったのです。」しかし、すぐに彼は歓迎されていると感じました。実は、毎週セミナーに出席している30人ほどの青少年のうち15人は教会の会員ではないのです。ボリビア・チチカカ地方部バタヤス支部の青少年は、毎週木曜日の夜にセミナーに出席し、そのほかの日は家で勉強します。

ボリビアの
ロベルト・カルロス・
コンドリ・パチュリは、
友達から
教会を紹介され、
セミナーに
出席し始めました。
「そこで学ぶことが
好きでした」と
彼は言います。
去年、
ロベルト・カルロスは
チチカカ湖で
バプテスマを
受けました。

「セミナーに来れば大切なことを学べるよ、と言って友達を誘っています。」16歳のアンヘラ・ダニエラ・サンヒネス・フロレスの言葉です。「それに、授業の後には楽しい時間を過ごすのです。」どうして彼らは来るのでしょうか。「ほんとうのことを言うと、遊んで楽しむために来る人もいれば、学ぶために来る人もいます。また、ほかの人たちは友達に誘われたから来るのです。」

ロベルト・カルロスがセミナーに出席したのはこれらのすべての理由が当てはまったからです。「そこで学ぶことが好きでしたし、ここにはたくさんの友達がいいます」と彼は言います。「授業の後にはサッカーやバレーボールをします。」彼は、セミナーや、長老たちとのレッスンを通して、古代の預言者や、現代の生ける預言者、そしてキリストがアメリカ大陸を訪られたことについて学びました。福音の真理を学んだことで、ロベルト・カルロスは教会に入ったのです。

スペンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985年)は、わたしたちに会員伝道の務めを思い起こさせるため、「実行」

というモットーを掲げました。大管長は、わたしたちが福音の回復について証するなら祝福を受ける、と約束しました。ホセ・ルイスはこれが真実だと知っています。

ロベルト・カルロスが福音を受け入れるのを見て、「とてもうれしかったです」と、ホセ・ルイスは言います。「自分の証を分かち合いたかったので、そうしたのです。」

コチャバンパでの勇気

エルアルトから約160マイル(約260キロ)南東に位置するコチャバンパでは、青少年が早朝セミナーに出席しています。

教会外でこれらの10代の若者たちは、標準を下げようとする同世代の仲間からの重圧を度々感じています。「ここで教会の会員でいることは大変です。わたしに悪いことをさせたいと思って





いる人が周りにたくさんいるからです」と、ポリビア・コチャバンバ・コビハステーク、ラチンバワードのクリスティアン・ペレス(19歳)は言います。「だからこそ、教会の友達は何より大切なんです。」これらの若い男性と若い女性の多くは、学校やまた家族の中でもたった一人の教会員かもしれませんが、常に互いを信頼し、助け合うことができます。クリスティアンは続けてこう言います。「セミナーと一緒に出席し、一緒に活動することが、教会の中で互いに助け合う機会となります。」

「わたしたちは家族のようで、お互いに関心を示し合うんです」と、ポリビア・コチャバンバ・ハイワイコステーク、アラレイワードのミリアム・エウヘニア・コパ・フェルナンデス(19歳)も同様の考えを話してくれました。「セミナーで一日が始まるのはとても素晴らしいことです。セミナーに出席すると、一日中幸せでいられるからです。」

ともに学び、成長することによって、これらの青少年は互いに霊的に支え合っており、そのことが彼らをいっそう強くしています。

「セミナーによって、自分の弱さや誘惑を克服し、よりよい決断ができるようになりました」と、ポリビア・コチャバンバ・コビハステーク、アメリカワードのネフィア・フロレス(18歳)は言います。若い男性と若い女性がより強い証を培うとき、彼らの友達にとってよりよい模範となっているのです。

「セミナーでの4年間は、とても大きな助けになりました。」

た。すべてのレッスンや勧告が、様々な試練に立ち向かうときの助けとなったからです」とラチンバワードのルイス・カルロス・ゴンサレス・ハイメス(19歳)は言います。彼は今、伝道に出る準備をしています。

コチャバンバに神殿があるので、この地域に住む多くの青少年は強さを得るためによく神殿に行きます。「ここコチャバンバに神殿があるのでとても幸せです。毎週、参入する機会があります」と、ポリビア・コチャバンバ・ハイワイコステーク、ペトロレロワードのハロルド・レイナルド・サラサール(18歳)は言います。「神殿でバプテスマを受けるのは、忘れられない経験です。」

これらの青少年は、神殿参入などの友達の行動の中に証の強さを感じているので、霊的な強さを得るうえで互いを頼りにできるということを知っています。

「彼らをととても尊敬しています」とミリアムは友達について言います。「彼らは霊的に強く、どんな試練にでも立ち向かう備えができています。わたしは彼らを信頼しています。彼らは教会に対してとても強い証があり、とても勇敢です。そして楽しい人々です。」

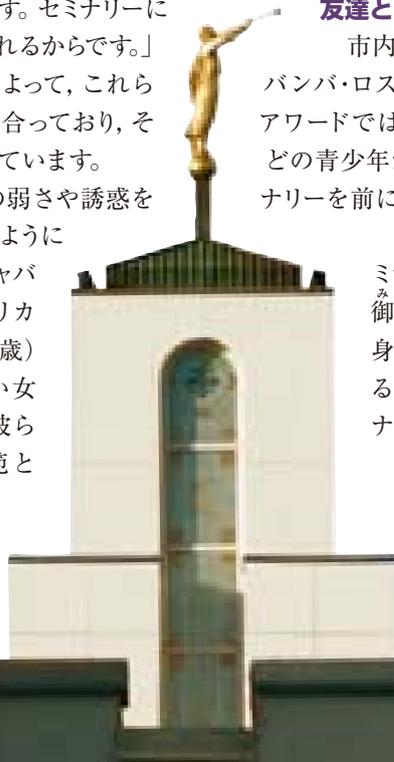
友達との朝食

市内の東側にある、ポリビア・コチャバンバ・ロスアラモスステークのゴルカピルアワードでは、毎朝5時半になると、20人ほどの青少年が集まります。6時に始まるセミナーを前に、簡単な食事を取るためです。

「わたしが朝早く起きるのは、セミナーに出席することで、一日中御霊とともにいられて、天の御父を身近に感じられることを知っているからです」と18歳のジェニー・リナレスは言います。

朝食はたいてい、砂糖をまぶしたパンとマテ(薬草の飲み物)またはアピ(紫と白のトウモロコシの粉で作る飲み物)で

コチャバンバに
神殿があることは
この地域の
青少年にとって
大きな祝福です。
多くの青少年が
毎週神殿に参入します。
コチャバンバの
セミナークラスの
生徒たちは、
お互いが
友達以上の存在であり、
家族のようなものだ、
と言います。
左から、
ネフィア・フロレス、
アレハンドラ・ガンボア、
ルイス・カルロス・
ゴンサレス・ハイメス、
ミリアム・エウヘニア・
コパ・フェルナンデス、
クリスティアン・ペレス、
イエセニア・サルガド、
そして
ハロルド・レイナルド・
サラサール。





ます。しかしもっと大切なことは変わりません。毎朝セミナーに出席することが、サンタクスの青少年の生き方に良い影響を与えているのです。「わたしたちは前進し、セミナーのクラスで学んだ原則を生活に生かさなくてはなりません」とボリビア・サンクス・カニョステーキ、エスタシオンワードのアドン・キンテラ・アパリシオ(18歳)は言います。「教会にセミナーのプログラムがあるのは、素晴らしい特権です。これからの生活で助けになる多くのことを学べるからです。」

ボリビアの青少年たちは、誘惑や標準を下げるようにとの重圧にあらゆる面で立ち向かいながらも、福音の真理に守りと助けを見いだしてきました。

「セミナーはわたしの生活において盾のようなものになっています」とボリビア・サンクス・エルバヒオステーキ、カルメン支部のマリア・D・フスティニアノ(18歳)は言います。「どうして盾のようなものかということ、毎日学校でわ

たしを守ってくれるからです。例えば、学校の先生は進化論を教えますが、わたしたちはセミナーを通して、どう考えるべきかしっかりと準備を済ませています。自分自身で考える力がありますし、神がほんとうにこの地球を創造されたことを心に感じられるのです。」

高地のアルティプラノから暑いサンタクスに至る、これらすべてのボリビアの青少年が異口同音に語ることがあります。それは、彼らがともに集うことにより、福音の中でさらに強さを増し、世の誘惑によりよく耐えられるということです。「1本の枝は簡単に折れてしまいます」とフランツ・コンドリは説明します。「しかし、多くの枝が集まると折れません。グループの中で一致があるときに、だれであろうと何であろうと、わたしたちを打ち破ることは難しいのです。わたしたちが互いに助け合っているからです。」■

す。しかし、青少年がセミナーに来るのは食べ物のためではなく、霊的な糧を得るためなのです。

「セミナーに来るのはとても楽しいです」と14歳のルリー・プラボは言います。「朝、青少年の仲間と会うと、一日が楽しくなります。天の御父とその御子についてさらに学ぶために来るのです。」

「実は、4年間セミナーで学んでいるうちに、伝道についてよく考えるようになりました」と18歳のディエゴ・ディアスは言います。「もうすぐセミナーを卒業します。そうしたら伝道に出ることができます。」

ボリビア・コチャバンバ・ユニベルシダス・アロカグアワードのフランツ・コンドリ(20歳)も同じ意見です。4年前にバプテスマを受けた彼は近いうちに伝道に出る計画を立てています。「この教会の会員になったとき、すでに伝道に出るという目標を立てていました。セミナーでの4年間がとても助けになりました」と彼は言います。「宣教師になったらいろいろと質問を受けるでしょう。そうした質問に答えるために、いつも読んで勉強している聖文が役に立つことを知っています。」



サンタクスでの強さ

コチャバンバから東へ180マイル(約290キロ)ほど行くとサンタクスです。そこに行くまでの間に気候が変わります。ここはかなり暑くなり

上、左から――

「4年間のセミナーが大きな助けになりました。」

――フランツ・コンドリ

「これからの生活において助けになる多くのことを学べます。」

――アドン・キンテラ・アパリシオ

「セミナーはわたしの生活において盾のようなものになっています。」

――マリア・D・フスティニアノ

わたしは 見詰められていた

キンバリー・ウェブ

教会機関誌

×モ帳に走り書きした住所にたどり着いたわたしは、その場所に何か不気味なものを感じました。古びた灰色の大きな家はアパートに改造されていましたが、まるでモノクロ映画に登場するおばけ屋敷のようでした。それでもわたしはレーチェルに会いたいと思い、思い切ってぐらぐらす階段を上って行きました。

時はさかのぼりますが、インスティテュートハウスの掲示板を丹念に見ていたときのことです。画びょうで留めた貸し部屋広告などが、所狭しとはられていて、どこから見たらよいか分からないほどでした。まるで紙と画びょうでできたパッチワークのキルトのようでした。その中で一つだけわたしの目に留まったものがありました。頭を円で、手足と体を線で描いた簡単な人型の絵に、「これがわたし、レーチェル。ランニングとジャズとチョコレートが大好き」と書いてありました。わたしは思わず噴き出してしまいました。アパートについては大して書いてありませんでしたが、ルームメイトにするにはおもしろそうでした。

しばらくレーチェルと話をした後、わたしはアパートが自分を歓迎しているような気がしてきました。不

気味に感じた第一印象はわきに押しやり、数週間後わたしはそのアパートに引っ越しました。

翌朝、レーチェルは家族と過ごす2週間の休暇に出かけてしまいました。彼女がいなくなった直後から、なぜかとても胸騒ぎがしましたが、そんな不安を払いのけてわたしは荷ほどきに没頭しました。「ここに慣れてないから神経質になっているのよ。時間がたてばどうってことないわ。」わたしは自分にそう言い聞かせました。

暗闇の中を
わたしは
玄関まで

走って行きました。

突然わたしは

凍りつきました。

物音一つしません。

でも、だれかが

近づいてくるのを

感じたのです。

夜中近くになって、わたしはのどのかゆみを伴う痛みで悩まされ始めました。「何かアレルギーに違いない」と思ったわたしは捜し回った末に、レーチェルが使っていた芳香性のろうそくを見つけました。わたしはそのろうそくを屋外に持ち出すことにしました。

通路の照明が切れていたのを思い出し、部屋のドアを少し開けて、光がわずかにもれるようにしておきました。暗闇くらやみの中をわたしははだして玄関先まで急ぎました。



突然、わたしは凍りつきました。

夜、風は全然なく、物音一つしません。でも、だれかが近づいて来るのを感じたのです。

「だれかに侵入される前にすぐに自分の部屋に戻りなさい。」はっきりとしたしかも急を告げる御^{たま}霊のささやきを感じました。

わたしはろうそくを握り締めたまま暗闇の中を全速力で走って部屋に飛び込み、ドアを勢いよく閉めました。鍵^{かぎ}を閉めた途端、ドアノブが回転しました。ショックでぼう然と口を開けたわたしは、音もなくドアノブが右に左に回転するのをただじっと見詰めました。

だれかが通路に潜んでいて、わたしの後から部屋に押し入ろうとしていたのです。間一髪の差でわたしは助かりました。古ぼけたドアだけがわたしと侵入者を隔てていました。本能的にわたしはあらん限りの力でドアをこぶしてたたきました。

その後何かが起こることを願いつつ、どれくらいの間その場で静かに祈りながら立ち尽くしていたか分かりません。やがて穏やかな気持ちになったので、「恐怖は去った、もう安全なのだ」と分かりました。

翌朝、母から電話がかかってきました。両親は休暇で家を留守にしていました。そうでなければもっと早くわたしの方から連絡をしていたでしょう。昨晚の出来事をわたしが話し始める前に、母はこう言いました。「あなたのことを心配していたのよ。通路が危険だという気持ちがずっとしていたの。ちゃんと電気はついているの？ さもないとだれかが隠れていても分からないわよ。」

わたしは確かに危うくだれかに襲われるところでした。200マイル(約320キロ)も離れた所にいた母までがそれを強く感じたほどに。そのことを知ったわたしは、恐ろしきで体の震えが止

まりませんでした。

母はその日の前日、危険を感じてわたしにそのことを伝えようと何度も電話をしたのだそうです。「でも、あなたが電話に出ないから祈ることにしたの。わたしはあなたを守ることができないけど、天の御父なら守ってくださるって分かっていたから」と母は言いました。

母の判断は正しかったのです。通路にだれかが隠れていて、じっとわたしを見詰めていたのです。でも、神もわたしをずっと見守っていて、何をすべきかをわたしに伝えてくださいました。

わたしが悲劇に見舞われることのないように主がいつも守ってくださるとは限りません。でも、わたしが主に従うかぎり、わたしの人生にかかわる主の計画がくじかれるままには決してなさないことをわたしは知っています。あの夜、わたしが守られることは主の御^{みこころ}心でした。主がわたしをずっと見守っていてくださったことを心から感謝しています。■

あと5分だけ

イレイン・ブラウン・
プレスラー

わたしたち家族は自然が大好きです。土曜日はほとんど屋外で過ごします。夏はハイキングにキャンプ、サイクリング、観光旅行、冬はそり遊び、スキー、雪の中の散歩といった具合です。それはわたしたち夫婦にとって、3人の子供たちと語り合うすばらしい家族の時間なのです。

ある夏の日、わたしたちは近くの森にある湖の周りを散

策していました。その日はすばらしい天気、日光がさんさんと降り注いで暖かく、湖からは涼しい風が吹いていました。小道を下りながらわたしたちは思い思いに目についた野の花や木々を指差しては、そうした美しいものを創造して楽しませてくださる天の御父の愛の深さについて話し合っていました。そのうち、今まで見てきた場所どこがいちばん美しいと思うかという話になりま



7 歳になる
ジェーコブは、
こう言いました。

「世界でいちばん
美しい所は
イエス様のもの
ばかりあるところだ
と思うよ。」

した。一人の子供は、近くにあるイエローストーン国立公園を挙げました。もう一人はお気に入りのキャンプ場だと言いました。わたしたちは海に行ったときのことや、きらきらと輝く雪に覆われた木々の間を滑ったクロスカントリースキーのことを思い浮かべていました。

7歳になる末っ子のジェーコブはそれまでじっとわたしたちの話聞いて

小さな決断が 永遠の祝福に

ビクター・ピノ・フエンテス

チリのアントファガスタで育ったわたしは、子供のころに初めて福音の教を耳にしました。両親が家に宣教師を招き入れたのがきっかけです。その後、わたしは教会の中で成長しましたが、個人的な証^{あかし}を得るための努力をほとんどしませんでした。その結果わたしは教会の活動から遠ざかってしまい、福音の神聖な力の助けを受けることなしに人生の荒波にもまれることになりました。しかし、信仰深いわたしの母は、わたしを絶えず愛し、静かに義の模範を示し続けてくれました。

わたしは教会員と結婚しましたが、妻もわたしも青少年のころに学んだ標準に従って生きることが今すぐ必要であるとは感じていませんでした。しかし、時がたつにつれ、家庭の事情が著しく悪化していきました。

難しい問題に直面していたことがきっかけで、妻は娘とともに教会に通い始める決心をしました。しかしわたしは一緒に行く気はまったくありませんでした。それでも、二人は毎週家に戻ると教会で学んだことをわたしに話してくれました。しばらくして、わたしはホームティーチャーの訪問を受けるようになりました。二人の忠実な兄弟は、わたしの中に、自身では気づかなかった神聖な可能性があるのを見抜いていたようでした。

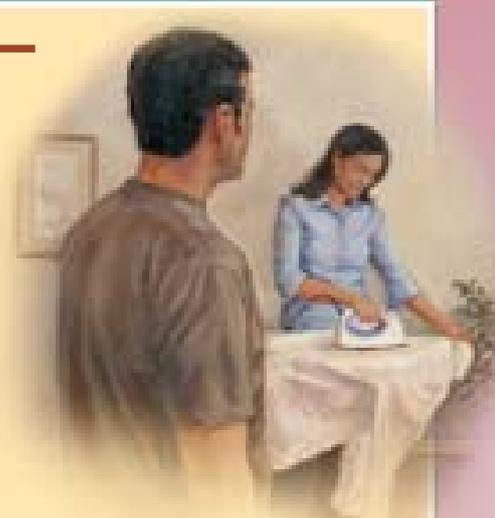
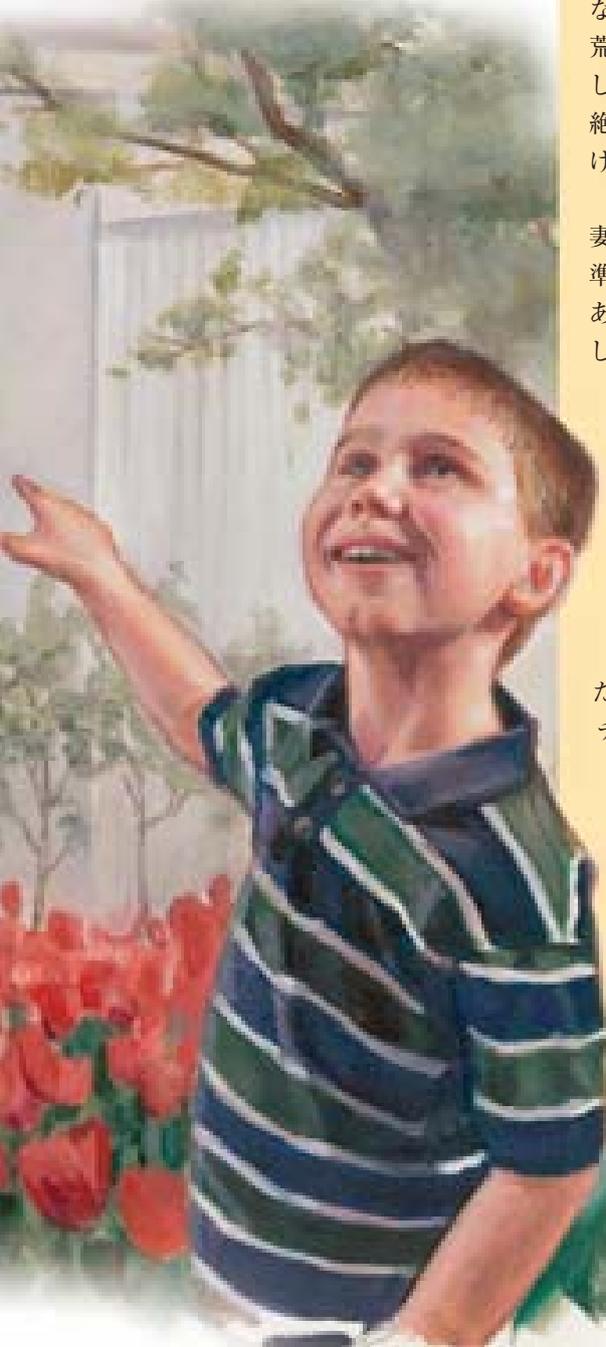
ゆっくりではありましたが、わたしの心に変化の兆しが芽生えてきました。しかし、最初のころわたしはそれを認めるのを拒み続けました。妻はわたしが一緒に教会に行ってくれればとの願いを込めて、毎週日曜日になるとわたしの服にアイロンをかけてくれ

ました。しかし、かたくなになっていたわたしはそれを着ようとしませんでした。それでも、Tシャツとジーンズで聖餐会^{せいさん}に出席するようになりました。そしてあまり活発に教会に集っていない会員がよくするように、ドアのいちばん近い所に座り、最後に入って真っ先に礼拝堂を出ることによってだれにも話かけられないようにしていました。

それから数か月してわたしは、自分が子供にとって良い模範になっていないどころか、自分の務めである神権の祝福を家族に与えていないことに気づきました。わたしは、一日も教会に行く機会を逃すまいと決心しました。福音の原則に従うことによって人生が光り輝くことを見たわたしは、この簡単な決断をずっと前にすべきだったことを悟りました。

主はどれほど強くわたしとわたしの家族を祝福しようと願っておられたことでしょう。程なく妻とわたしと子供たちは、チリ・サンティアゴ神殿で家族の結び固めの儀式を受けることができました。

わたしは福音の原則を粘り強く教えてくれた母に感謝しています。また、愛と模範を通して福音の原則に従って生きるよう励ましてくれた妻にも感謝しています。信仰深いホームティーチャーにも感謝しています。また、福音に従って生きるように、想像をはるかに超える祝福を与えられるよう、忍耐強く待っていてくださった天の御父に心から感謝しています。■



いましたが、このように言いました。「ぼくは世界でいちばん美しいところはイエス様のものばかりあるところだと思うよ。」イエス様のものばかりがあるところ？ わたしはあれこれ思い巡らした末に、ジェーコブがソルトレーク・シティーにあるtemplスクウェアのことを言っていることに気づきました。壮大な神殿、樹木、噴水、花壇。templスクウェアは確かに美しい所です。しかしジェーコブにとって、templスクウェアは外見的な自然の美しさよりもずっと深い意味を持っていたのです。

生まれつき心臓に欠陥のあるジェーコブは、これまで3回の心臓手術を受け、数多くの検査を受けてきました。そして今後も多くの手術を受ける必要があると見込まれています。担当医はしばしばアイダホまで来てくれますが、手術や一部の検査はソルトレーク・シティーにある小児医療センターに行っ
て受けなければなりません。そのため
の移動は、ジェーコブの体調が心配
胸が張り裂けそうになることもしばしば
でした。そうした中でtemplスク
ウェアに行くと、心が安まり、天の御父
の計画に思いをはせ、主を信頼する必
要があることを思い起こせるように
なるのです。

ジェーコブが最近受けた最も難しい手術の前の晩、わたしたちは彼をtemplスクウェアの訪問者センターに連れて行きました。そこで家族全員で腰を下ろし、あの栄光に満ちた救い主の像、「クリスタス」を見詰めていました。親のひざに抱かれたジェーコブは、平安とぬくもり、安心感に満たされてそこを離れようとしませんでした。ジェーコブは珍しくじっと座って「あと5分だけ」と繰り返す言い続け、結局そこにいた時間は1時間にも及びました。ついにその場を去るときには、わたしたちは皆穏やかな気持ちになり、手術でどのよう

ことが起ころうともそれに立ち向かう備えができたと感じられました。

ジェーコブがtemplスクウェアを美しいと思うのは、そこで見るものというよりも心で感じるものが美しいからなのです。平安、希望、慰めという天の御父の賜物^{たまもの}は、自分の目で見て心に残っているものよりも、ジェーコブにはずっと麗しいものなのです。

天の御父の計画を理解し、主の御心^{みこころ}を受け入れ、信じることによって、計り知れない平安と喜びがもたらされます。落胆したり、動揺したり、恐れを感じたりするときに、わたしたちには心を向けることがあります。それはどこか特定の美しい場所ではありません。わたしたちの救い主、イエス・キリストです。ジェーコブは正しいと思います。イエス・キリストに心を向けること以上に麗しいものはありません。■

あのダンスカップルを もう一度一つに

カート・ステットナー

わたしはオーストリアのウィーナーノイシュタットという町で25年間働いてきました。5月のある穏やかな日の昼休みに、歩道を散策していたわたしは、1軒の本屋の前で足を止めました。入り口の近くに安売り用の本を山積みにした大きな二つの箱が置いてありました。そんなに安売りされているとはどんな本かなと興味を持ったわたしは、山積みされた中でいちばん上に置いてあった本を手に取りました。取り立てて買うつもりなどまったくありませんでしたが、本を開いてみると、ダンスをしているカップルの絵が目にとまりました。

グレットル・ステットナーというこの本を所有していた人の名前を見つけたときは、とても驚きました。その名前を見た途端、わたしはそれが父の2番目の妻の名前であることを思い出したのです。わたしはその人のことを長い間考えたこともありませんでした。

父は税関に勤めていましたが、ダンスが大好きでダンススクールを経営していました。父はわたしの母と離婚してから数年後にそのダンススクールでグレットルと出会いました。父は虫垂破裂のためわずか35歳で亡くなってしまったので、二人の関係は短いものでした。死の床に就いていた父は、わたしの実の母がわたしの面倒を見られな

いと分かっていたので、グレットルにわたしを託し
なかったのだと思います。そのため、父
は亡くなる3時間前にグレットルと結婚
しました。しかしグレットルはまだ非常に
若く、両親の保護下にある身でしたので、
わたしの世話をすることなど到底でき
ませんでした。そこでわたしは里親の
家で育ちました。

その本を手にして、ステットナーの
名前だけでなく、ダンスをしているカッ
プルを見ているうちに、グレットル・ス
テットナーという女性は、父の法律上
の妻であったことを突然実感しまし
た。彼女には父と結び固めを受ける
権利があったのです。

その後いろいろ調べた結果、グレットルは再婚をせず、ウィーンに住んで足の美容サロンを経営していたことが分

父はダンス
スクールで
2番目の妻
となるグレットルに
出会いました。
わたしは
彼女が父と
結び固めの儀式を
受ける権利が
あることを知りました。

かりました。わたしは彼女の結婚前の姓と、彼女の家族のバイセンバーク一家が住んでいた町の名前も思い出しました。わたしは、妻と一緒に彼らの消息を調べましたが、残念なことに家族全員がすでに他界していました。墓地を訪れましたが、墓石にはどれも姓

しか刻まれていませんでしたので、当初は何の進展も見られませんでした。その後、墓を購入しその維持管理費用を払っている人物がいるはずだということに気づき、担

当部署にその墓の所有者に関する情報を提供してくれるように頼みました。その結果、ウィーン在住のグレルのめいの名前を突き止めることができたのです。彼女はグレルのために神殿の儀式を行うのに必要なすべての日付に関する情報だけでなく、すでに亡くなっている両親、祖父母、おじ、おばに関する情報までも提供してくれました。

また、わたしの妻とグレルのめいは、若いころ同時期に同じ高校に入学し同じ日に卒業していたことも分かりました。世間は何と狭いのでしょうか。

妻とわたしは、グレルの家族全員の名前を神殿に提出し、ドイツのフランクフルト神殿において自分たちで儀式を行うことができました。わたしはこの機会に心から感謝しています。そして、わたしが継母の本を見つけたのは単なる偶然ではなかったと確信しています。グレルのめいと話した結果、グレルはたくさんの本を持っていたので、めいはそれらの一部を人に上げたり、手もとに置いたり、あるいは売りに出したりしたことが分かりました。その中のたった1冊がウィーナーノイシュタットの町にたどり着きました。そして、たまたまそれを手にしたのが、わたしだったので。■





主の時

わたしや、わたしの愛する人たちの人生は、教会によって変わりました。わたしは、様々な機会に聖霊を感じてきました。また、聖文研究や、預言者や指導者によって書かれた記事によって、非常に助けられてきました。特に助けとなったのは、十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老の記事、「時」です(『リアホナ』2003年10月号)。わたしは主に全幅の信頼を置き、すべての物事には時があることを知っています。この記事を書いてくれたオックス長老に感謝します。この記事はわたしにとって非常に助けとなり、また、わたしの主イエス・キリストへの証を強めてくれています。

ドミニカ共和国、

ビクター・サンターナ・アリアス

宝石のような写真

夫とわたしは、『リアホナ』に掲載される写真を、いつもよく見えています。様々な美しい写真に感謝しています。中でも特に、大会号の白黒写真に感謝を述べたいと思います。優れた写真家の皆さん、宝石のような写真をいつもありがとうございます。

自分の使う言語で毎月毎月発刊される、このすばらしい機関誌の写真を見、記事を読むことのできる目があることに、どれだけ感謝していることでしょうか。ほんとうにありがとうございます。

ベネズエラ、カーメン・T・ド・ルシッティ

胸にあふれる伝道への望み

専任宣教師になる備えとして、『リアホナ』をはじめとする数々の霊的な資料を研究しています。2005年2月号の『リアホナ』に感謝しています。特に、クリステンセン長老と姉妹によるすばらしい記事「福音を伝えるための7つの教え」に感謝しています。この記事によってわたしの霊は鼓舞され、福音を宣べ伝えたいという望みが大きくなりました。この記事について考えるにつれて、この業がいかに重要であるか、さらに深く理解できるようになりました。わた

しの心には「福音を宣べ伝えたい」という強い望みがあふれています。

ブラジル、イラニルソン・レイテ・マチャード

義の活力源

このすばらしい機関誌に感謝しています。ロシア語では、教会の資料はほとんどありません。ですから毎号の『リアホナ』は、長い間、義への活力を与えてくれています。「質疑応答」のページにも感謝しています。掲載されている質問は、ロシアの青少年が抱えている質問とまさに一致しています。

ロシア、セルゲイ・アンタマノフ

「主の刈り入れ」マリアリー・キャンベル画 描写は禁じられています



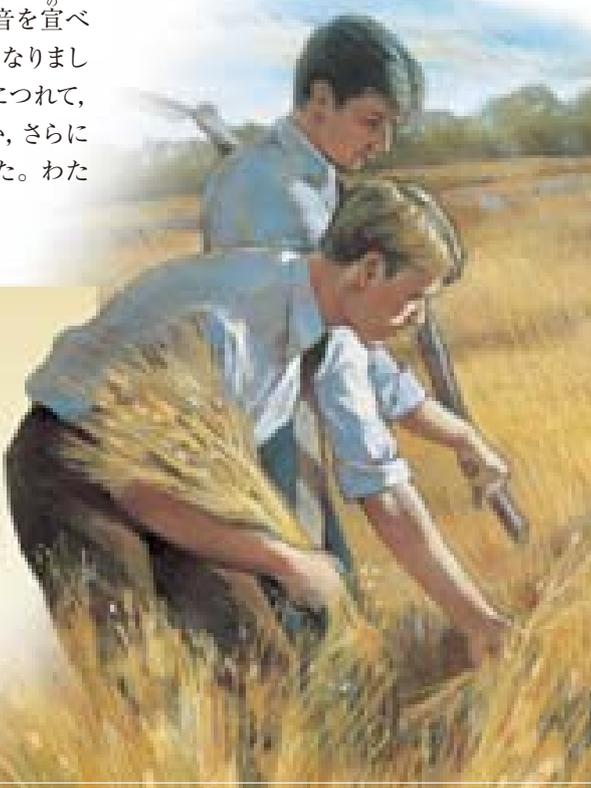
新約聖書の世界を表現した美術作品募集

2007年に、日曜学校の新約聖書教科課程に関連した資料を出版します。考慮の対象となるのは、プロの芸術家による新約聖書の場面に関する美術作品です。作品のサンプルを以下の電子メールアドレスに送信するか、カラーコピーを以下に郵送してください。コピーだけをお送りくださるようお願いいたします。作品のコピーは返却いたしかねますのでご了承ください。2006年10月31日までにご提出ください。

電子メールアドレス—cur-artist-photographer@ldschurch.org

郵送の場合のあて先—New Testament Art, Liahona Magazine,

50 E. North Temple St., Room 2420, Salt Lake City, UT 84150-3220, USA





世界指導者訓練集会

家族を支える

2006年2月11日



世界指導者訓練集会の説教は、2006年6月号の『リアホナ』と『エンサイン』(Ensign) および <http://www.lds.org> に掲載されます。
家庭やレッスンで資料としてご利用ください。

末日聖徒イエス・キリスト教会

結婚—— 神の永遠の計画に 不可欠なもの

十二使徒定員会

デビッド・A・ベドナー



結婚の教義的理想

わ たしたちは、結婚生活や家庭生活を堅固にするために最善を尽くすよう、大管長会から熱心な指導を受けています。現代はどの時代にも増して、そのような指導が必要な時代です。なぜなら今は、結婚の神聖さが攻撃にさらされ、家庭の重要性が過小評価されている時代だからです。

結婚生活と家族生活を支援する教会のプログラムはおおむね成功を収めています。しかし、「ほかのどのような手段や組織も家庭に代わり得ないし、家庭の重要な役割を肩代わりできない」という根本的な真理を常に覚えておく必要があります。¹ ですから今日わたしは、男性、女性、夫、妻、母親、父親としての皆さんをまず念頭に置き、神権指導者、補助組織指導者としての立場は副次的に考えながら話します。永遠の結婚が御父の幸福の計画において果たす本質的な役割について説明することにします。

まず結婚の教義的理想に的を絞りましょう。配偶者の有無や、現在の個人の状況にかかわらず、今日この場で、人の永遠の可能性について考え、自分は何者であるか、この世にいる目的は何であるかを思い出すことにより、一人一人が、導きや慰め、希望を得られるように望んでいます。時には、結婚の教義的理想と現実との間に大きな開きがあると感ずることもあるかもしれませんが、皆さんは自分で想像する以上に、

着実に進歩成長しているのです。

これから永遠の結婚に関する原則を説明する間、次のように自問してください。

質問1——わたしは実生活の中で、これらの根本的な原則を理解し応用して、より良い夫、良い妻になるために努力しているだろうか。あるいは、将来そのような夫、妻となるために備えているだろうか。

質問2——神権指導者、補助組織指導者であるわたしは、これらの根本的な原則に従って結婚生活や家庭生活を堅固にできるよう、会員たちを助けているだろうか。

以上の質問について祈りの気持ちで深く考え、自分自身の結婚生活や教会の責任について考えるなら、主の御霊によって心が照らされ、必要なこと、改善すべきことが明らかにされると証します(ヨハネ14:26参照)。

結婚が不可欠な理由

「家族——世界への宣言」の中で、大管長会と十二使徒評議会は、こう宣言しています。「男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものである。」² 宣言の根幹となるこの一文には、教義面から見た結婚の重要性が教えられ、また、結婚生活と家庭生活が御父の計画の中で最も大切なものであることが強調されています。義にかなった結婚生活は一つの戒めであり、墓を越えた後も続く愛に満ちた家族関係を築くために欠かせないステップです。

永遠の結婚が御父の計画の中でど



うしても欠かせないのはなぜかを理解するのに役に立つ、力強い教義的理由が二つあります。

理由1 — 男性の霊と女性の霊は、互いを完成し合う性質を持っている。だからこそ、男女は、昇栄に向かって一緒に進歩するように意図されているのである。

結婚の永遠性や重要性を十分理解するには、御父が子供たちのために立てられた偉大な計画に照らし合わせて考える必要があります。「すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末とを受け継いでいます。」³ この偉

大な幸福の計画があることにより、御父の霊の息子娘は、肉体を得て地上での生活を経験し、完成に向かって進歩することができます。

「性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須^{ひつす}の特性なのです。」⁴ つまり性別によって、自分が何者で、何のために地上にいて、将来何をし、何になるかがはっきり分かります。神の目的のため、男女は異なり、

固有の特徴を備え、補い合っています。

地球が創造され、アダムがエデンの園に置かれました。重要なことに、神は「人がひとりであるのは良くない」と言われ(創世2:18;モーセ3:18)、エバがアダムの伴侶^{ほんりよ}、友、協力者、妻となりました。つまり、幸福の計画を推し進めるには、霊的、肉体的、精神的、感情的に、男女が力を合わせて一つになることが必要だったのです。男性

であれ女性であれ、単独で創造の目的を達成することはできませんでした。

神の計画により、男女は、完成と完全な栄光に向かって一緒に歩むよう意図されて造られました。男性と女性は、明らかに異なる気質と能力を備えているので、結婚生活の中に、それぞれ独特の見方や経験を持ち込みます。男女は、異なる方法で平等に貢献し合いながら一致します。ほかの方法では一致できません。互いに学び合い、強め合い、祝福し合ううちに、女性は男性に補われ、男性は女性に補われて、互いに完全な者となります。「主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない」のです(1コリント11:11, 強調付加)。

理由2——神の計画により、死すべきこの世に子供をもたらす、最良の環境の下で養育するには、男性と女性の両方が必要である。

かつてアダムとエバに与えられた、増えよ、地に満ちよとの戒めは、今もなお有効です。「生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべき[ものであると神は戒められています]。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。』⁵ つまり、男女間の結婚こそが、前世にいる霊をこの死すべき世にもたらすために神が承認された経路なのです。この神聖な経路を汚さずに守るには、結婚前の完全な純潔と、結婚後の完全な貞節が必要です。

夫と妻が互いに愛し合い誠実である家庭は、子供を育てる最高の環境となります。そのような家庭の子供は、愛と義をもって育てられ、霊的にも物

質的にも満たされます。男女の異なった特徴が夫婦関係を完成させるのと同じように、男女それぞれの特徴は、子供を育て、養い、教えるうえでも欠



パーリー・P・プラット長老は、結婚の教義的理想を学び、理解し、実践しようと努力する人が受ける祝福について語っています。

かせません。「子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。』⁶

指針となる原則

以上の二つの教義的理由から、御父の幸福の計画の中で永遠の結婚がいかに重要であるかを振り返りましたが、この二つの教義的理由からさらに、結婚に備えている人にも、既婚者にも、教会の奉仕のあり方に対して、指針

となる原則が導き出せます。

原則1——永遠の結婚の重要性は、御父の幸福の計画に照らし合わせて初めて理解できる。

結婚に関しては、「社会の基本単位」「安定した国の土台」「社会や文化の要」などと度々話題に上り、強調されています。しかし、回復された福音によれば、結婚はそれらをはるかに上回るものであることが分かるのです!

わたしたちは結婚について話すときに、御父の計画の中で結婚がいかに大切であるか十分に教えているでしょうか。幸福の計画に欠かせない簡単な真理と結婚がどう結びつくかを教えないければ、どんなに力説しても、ますます混乱し邪悪になっていく世界にあっては、十分な導きと守りと希望を得ることはできません。アルマの教えを思い出す必要があります。「神は、贖いの計画を人々に示された後、……戒めを[人の子ら]に与えられた。」(アルマ12:32, 強調付加)

パーリー・P・プラット長老は、結婚の教義的理想を学び、理解し、実践しようと努力する人が受ける祝福について見事に語っています。

「父母、夫婦、兄妹、息子娘の関係を尊重する方法を教えてくれたのは、ジョセフ・スミスでした。

愛する妻と、この世から永遠にわたって一緒にいられると教えてくれたのも、互いを慕う純粋な愛と思いやりは、神の永遠の愛の泉からわき出るのであると教えてくれたのも、ジョセフ・スミスでした。……

以前も確かに愛していたのですが、なぜ愛するのかわかりませんでした。しかし、今は、わたしの魂を、卑しい世



男女の差異を混乱させ、時が来る前に間違った方法で生殖の力を使わせようとし、正しい結婚を妨げようとしているのです。なぜなら、結婚を定められたのが神であり、幸福の計画の中心が家族だからです。サタンは今後さらに強く、頻繁に、また巧妙に永遠の結婚を攻撃してくるでしょう。

今は結婚と家庭を守るために闘う時です。ですからわたしは、最近モルモン書を読んだときに、ニーファイ人がレーマン人との戦いにどのように備えたかという点に特に注目して読みました。そこで気づいたのは、ニーファイ人が、まず敵の「意図を知って、彼らと戦いを交える用意をした」という点です(アルマ2:12, 強調付加)。この部分を読んで研究して、敵の意図を理解することが効果的に準備する鍵になることが分かりました。この末日の闘いにおいても、敵の意図を見抜く必要があります。

御父の計画の目的は、子供たちに導きを与え、幸福になれるように助け、安全にみもとに連れ戻すことです。ルシフェルがその計画に攻撃を加えるのは、神の息子娘たちを混乱させ、不幸にさせ、永遠の進歩を阻むためです。偽りの父であるサタンは、「すべての人が自分のように惨めになることを求めて」います(2ニーファイ2:27)。だからサタンは御父の計画の中で最も憎らしい部分をゆがめたいのです。サタンには肉体がなく、結婚することも、家族を持つこともできません。ですから、神聖な目的で定められた性別、結婚、家族を常に混乱させたいのです。世界中でサタンの攻撃が激しさを増しているのは、だれの目にも明らかです。

のはかないものから引き上げ大海のごとく広げてくれる、気高い感情をもって純粋に愛することができるようになりました。……つまり今は、深く理解して心から愛することができるのです。

それはすべて、愛する兄弟ジョセフ・スミスが、……幕をほんの少しだけ持ち上げて、永遠を一目見せてくれたおかげなのです。』⁷

御父の幸福の計画に照らし合わせなければ、永遠の結婚の重要性は理解できません。男性、女性、夫、妻として、また教会の指導者として、その意味を理解していますか。幸福の計画の教義を理解すれば、人は永遠の結婚への希望を抱き、そのために備えるようになります。結婚を先送りにし

たり避けたりする原因となる恐れや不安を打ち消し、乗り越えることができるようになります。幸福の計画を正しく理解すると、永遠の結婚の聖約を確固として尊ぶ決意が強まります。この真理を深く考え、深く理解するならば、わたしたちは家庭と教会双方において、さらに熱心に学び、教え、証するようになるでしょう。

原則2——サタンはすべての男女が自身のように惨めになることを望んでいる。

ルシフェルは、個人、家族、世界にとって重要なこの教義を、絶えず攻撃し、ゆがめようとしています。サタンは極悪な攻撃を仕掛けるうえで、直接どこをねらっているのでしょうか。絶えず、

近年悪魔は、性別の混乱と結婚を結びつけ、同性結婚を合法化させようとしています。死すべき世から永遠へと目を向けるなら、悪魔が唱道し、多くの人を惑わしている偽りの結婚からは、男女の結び固めによって得られる完成も、義にかなった結婚生活の幸福も、子孫による喜びも、永遠の進歩という祝福も得られないことは一目瞭然です。

今こうして敵の意図を理解したので、一人一人が決して怠ることなく、結婚生活を守る方法について靈感を求めなければなりません。性別の持つ永遠の意味や、御父の計画における結婚の役割について、家庭でも、教会の責任を果たすうえでも、原則を正しく学び、教えることができるように導きを求めてください。

原則3—愛と幸福という究極の祝福は、永遠の結婚聖約の中にあつて得ることができる。

結婚の聖約を交わした二人の間には主イエス・キリストがおられます。救い主が三角形の頂点におられることに注目してください。女性は三角形の底辺の一方の端に、男性は反対側の端にいます。さて、この男女がそれぞれ着実に「キリストのもとに来て、キリストによって完全に」なろうと努力したら、二人の関係はどうなるでしょう(モロナイ10:32)。贖い主のおかげで、また贖い主を通じて、二人の距離は次第に縮まります。

夫と妻がそれぞれ主に近寄り(3ニーファイ27:14参照)、互いに仕え合い、大切にし合い、経験を共有し、一緒に成長し、一つになり、それぞれの異なった性質を組み合わせる祝福が受

けられるようになれば、御父が子供たちに熱望しておられることが徐々に成就するのが実感できるようになります。御父の計画の最大の目的である究極の幸福は、永遠の結婚の聖約を交わし、それを尊ぶことによって得られるのです。

男性、女性、夫、妻、また教会の指導者として最も大切な責任は、若い兄弟姉妹が義にかなった結婚について学



**夫と妻は、それぞれ着実に
キリストのもとに行くに従って、
互いに近づくことができます。**

び、その備えができるように、模範を通して助けることです。ふさわしさ、誠実さ、犠牲、結婚聖約を尊ぶ姿勢の模範を見ると、若い会員たちは、デートや結婚生活に同じ原則を取り入れてくなります。永遠の伴侶の喜びや幸せを最優先にしている夫婦を見ると、若い人々は、わがままを控え、もっと与え合い、尽くし合うようになり、永続する対等な夫婦関係を築くようになります。互いに尊敬し、思いやり、信頼し、

愛し合っている夫婦を見ると、若い男女は同じような資質を伸ばしたくなります。教会の子供や青少年は、指導者の言葉は忘れても、その行いと人格から多くを学んでいます。

残念ながら、若い教会員の多くは現在、永遠の結婚に向かつて努力することを恐れ、躊躇しています。それは離婚する世の中の夫婦の例や、家庭や教会で聖約を破る夫婦の例を目にしすぎているからです。

永遠の結婚とは、いつでも、どんな理由でも解消できる、単なる一時的な契約ではありません。神と交わす神聖な聖約であり、この世から永遠にわたる契約なのです。結婚生活における誠実と貞節とは、教師が語るだけの単なるありがたい言葉ではありません。永遠の結婚をした夫婦の間に、その原則がはっきり表れていなければなりません。

模範の大切さについて考えてきましたが、わたしたちは今、改善すべき点を各自で自覚しているのでしょうか。聖霊によって鼓舞され、心が和らげられ、自己改善への励ましを感じているのでしょうか。神権指導者、補助組織指導者として、結婚と家庭を強めることにこれから努力を集中したいと感じているのでしょうか。

夫婦は、自分自身と家庭を悪魔の攻撃から守るために、一緒に過ごす必要があります。意図的ではないにしろ、教会の召しを尊んで大いなるものとするあまり、家庭の神聖な責任を夫婦・両親が果たすのを妨げているのでしょうか。例えば、時々不必要な集会や活動を計画して、夫婦や親子が大切な時間をともに過ごすのを妨げていることはないでしょうか。

これらを真剣に考えるなら、今すぐに、また今後も継続的に、家庭で何をなすべきか、教会で何をなすべきか、御霊が示してくださると確信しています。

必要とする靈感の源

御父の計画の教義を学び、理解すること、義にかなった結婚を擁護し、若人がまねしたいと思うような夫婦になること、家庭と教会で正しい原則を教えることについて説明してきましたが、わたしたちには、この責任を果たす能力があるのでしょうか。並の人間であるわたしたちに、並外れたことが求められているのです。

何年も前、妻とわたしは、小さくて元気のいい子供たちの世話、教会、仕事、地域社会の責任と、次から次へと入ってくる重要な用事に追われ、忙しくしていました。ある晩、子供たちが眠った後、大切な事柄を効果的に全部行うにはどうしたらよいか、夫婦で長い話し合いをしました。わたしたちは、この世で交わした聖約をもっと完全に尊ばなければ、永遠の世にあって約束されている祝福を受けられないことを悟りました。もっと良い夫、良い妻になろうと、二人で一緒に決意しました。何年も前にしたその決意によって、わたしたちの結婚生活は大きく変わりました。

幸福の計画という簡潔で美しい教義は、かけがえのない永遠の視点を与えてくれ、永遠の結婚の重要性を理解できるよう助けてくれます。わたしたちには、必要とする霊的な導きがすべて与えられています。イエス・キリストの完全な教義があります。聖霊もおられ、啓示も与えられています。救



最も重要な責任の一つは、若い男女が義にかなった夫婦関係について学び、備えられるように、模範を示すことです。

いの儀式も、聖約も、神殿もあります。神権も与えられ、預言者もいます。聖文も与えられており、神の御言葉の力もあります。そして、末日聖徒イエス・キリスト教会もあるのです。

義にかなった結婚について学び、教え、強め、守るために必要な靈感の源がすべて与えられていることを証します。そして確かに、夫婦として、家族として、永遠に一緒に、幸福に暮らすことができることを証します。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. 大管長会からの手紙、1999年2月11日付参照、または『リアホナ』1999年12月号、1参照
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号、49
3. 『リアホナ』2004年10月号、49
4. 『リアホナ』2004年10月号、49
5. 『リアホナ』2004年10月号、49
6. 『リアホナ』2004年10月号、49
7. *Autobiography of Parley P. Pratt*, パーリー・P・プラット・ジュニア編(1938年)、297 - 298

互いに 愛と関心を示し合う 厳粛な責任

十二使徒定員会
L・トム・ベリー



責任のバランスを取る

わたしに与えられたテーマは、「家族——世界への宣言」の中の次の一節です。「夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。」¹

今日、わたしはこのテーマについて、皆さんがほかの訓練集会でよく聞く話とはかなり違った方法で話します。手引きからはあまり引用せず、天の御父の王国における皆さんの奉仕について、率直に話したいと思っています。家族に愛と関心を示すという責任と、主から与えられたほかの特別な召しとのバランスをどう取るべきか、ともに理解を深められればと願っています。

1830年4月6日に教会が組織されたとき、預言者ジョセフ・スミスは現在教義と聖約第21章となっている啓示を受けました。その啓示の一部を読んでみましょう。

「見よ、あなたがたの間で記録を記さなければならない。そして、その記録の中で、父なる神の御心とあなたがたの主イエス・キリストの恵みによって、あなたは聖見者、翻訳者、預言者、イエス・キリストの使徒、教会の長老と呼ばれなければならない。

あなたは、教会の基を据えて、最も聖なる信仰のためにこれを築き上げるように、聖霊による靈感を受けた。

それゆえ、彼がわたしの前を完全に聖く歩み、わたしの言葉と戒めを受けるとき、あなたがたの教会員は、彼があなたがたに与えるそれらのすべてを心に留めなければならない。

あなたがたは忍耐と信仰を尽くして、あたかもわたし自身の口から出ているかのように、彼の言葉を受け入れなければならない。」(教義と聖約21：1-2, 4-5)

このように、新しく組織された教会で最初に与えられた教義の一つは、神の王国を建設する責任を果たすに当たって、主の預言者を通して主から与えられる靈感と啓示に従うことだったのです。主はこの偉大な業を推し進めるために、わたしたちの取るべき道を示すと約束されました。

預言者の勧告

今日の預言者ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、2003年6月21日に放送された世界指導者訓練集会で、責任のバランスを取る鍵について教えました。

「皆さんはこの業を前進させるに当たって世の贖い主を代表する特権を受けています。また、主の息子や娘のために主イエス・キリストの贖いの血の尊さを語る機会を得ています。これ以上に大いなる特権があり得るでしょうか。

皆さんのものであるこの特権を喜んでください。この機会には続きません。あっという間に、今皆さんが経験している大いなる事柄が、思い出になってしまう日が来ます。

望むすべてを成し遂げる人はいな



主は歴史上のどの時代にも、夫婦の神聖な結びつきを守るこの律法を与えてくれました。

いでしょう。それでも最善を尽くしましょう。その後、贖い主が次のように言われることを思うと、心が満たされます。『良い忠実な僕よ、よくやった。』（マタイ25：21）²

覚えていると思いますが、放送の中で大管長は、わたしたちに与えられている4つの責任について説明しました。今日の放送に関連するのは、そのうちの第1の責任です。読んでみましょう。

「第1に、家族を絶対にないがしろにしないでください。家族ほど大切なものはありません。奥さんや子供たちには、夫であり父親である皆さんの配慮を受ける資格があります。結局のところ、後の世に持って行くことができるのは、この家族関係なのです。聖典の言葉をもじって言えば、『たとい人が忠実に教会に奉仕しても、自分の家族を損

したら、なんの得になろうか』というところでしょうか（マルコ8：36参照）。」³

教会が組織された初期のころから、預言者たちが変わらず教えてきたのは、まさにそのことです。福音の教えと指導力が最も必要とされている場所は家族と家庭なのです。この教えに従えば、わたしたちが与える割り当ても、プログラムや活動、レッスンの計画も、家族を補い助けるようなものになるでしょう。

正しい優先順位を確立する

家庭での務めと教会での奉仕を上手に両立させるうえで基本となるのが、時間の使い方と生活のバランスです。時間の使い方とどのように優先順位を付けるかについて預言者が与えた勧告に従えるよう、自己訓練してください。

永遠の伴侶

まず、結婚生活を堅固なものとし、愛を互いに示し合うためにどれくらいの時間が必要か、永遠の伴侶と話し合うことから始めてください。それが第一の優先事項です。

教会の目的は、個人と家族がキリストのみもとに来て永遠の命を得るよう助けることです。永遠の命とは、神が人に与えられる最高の賜物であり、家族関係を通してのみ得られるものです。家族関係はまず、夫婦の結びつきから始めなければなりません。それは主にとって神聖で、軽んじてはならないものです。主の計画にあって、結婚の聖約は欠かすことのできないものであり、主が天地を創造されたのはそのためでした。だからこそ、主は歴史上のどの時代にも、夫婦の神聖な結びつきを守るこの律法を与えてくれたのです。



子供にとって両親の教えほど大切なものはありません。

子供

第2に、子供の霊的な必要についてよく考えてください。子供と親密な関係を保つために必要な時間はどれくらいでしょうか。子供を教えるために十分な時間を取ることも、父親、母親としての皆さんの責任です。なぜなら、子供にとって両親の教えほど大切なものはないからです。わたしたちは、子供が教会で学んでいることを熟知したうえで、子供一人一人に教会の教えと一致したことを教える必要があります。例えば、小冊子『若人の強さのために』では、「家族——世界への宣言」を引用して、若い人たちに家族に関するこの勧告を与えています。

「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いや

り、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。」⁴
続けて、小冊子にはこう記されています。

「家族がいるというのは、とても大きな祝福です。家族がいるおかげで、親しみのある交わりや幸福があり、愛に満ちた雰囲気の中で正しい原則を身に付けたり、永遠の命を得る準備をしたりする助けが得られます。家族全員が同じ性格ではないかもしれませんが、天の御父の計画では一人一人皆大切です。

幸せな家庭を築くために、あなたは自分の役割を果たしてください。明るく、いつでも相手を助け、思いやりを示してください。家庭内の問題の多くは、家族の自分勝手に不親切な言動から生まれます。家族の必要に心を配ってください。いじめたり、けんかをしたり、口争いをしたりするのはな

く、平和を作り出す人になるように努めてください。教会では家族がいちばん神聖な単位であることを忘れてはなりません。」⁵

家族を養う

第3の優先事項は経済的に家族を養うことです。もう一度、「家族——世界への宣言」から読んでみましょう。

「神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。」⁶

わたしたちは、収入を得るのに役立つ技能を保つ必要があります。移り変わりの激しい今の世の中では、常に技能を磨いていないと時代に取り残されてしまいます。教会の責任で忙しいときも、自らの能力を伸ばし家族の福利を向上させる機会をおろそかにすべきではありません。将来に備えるに

は、十分な時間をかけることと、よく考えることが必要です。

この助言は兄弟たちだけでなく、姉妹たちにも当てはまります。家族の経済的な必要を賄う責任はおもに父親にあります。宣言にあるように、「心身の障害や死別、そのほか様々な状況で」⁷ 姉妹たちにも家族を養う責任が生じることがあり、必要な技能を使ったり伸ばしたりしなければならないことがあるからです。

教会での奉仕

第4の優先事項は、教会活動に時間を使うという決意です。活発な末日聖徒の家族であれば、教会で過ごす時間を大切に、教会での活動のために家族の生活を調整するはずで

す。指導者は召しを与え、何が求められているかを説明するに際して、家族の事情に特に配慮すべきです。小さな子供がいる家族の両親が二人とも負担の大きな召しを受け、家を空けることが多くなれば、教会活動が家族生活

**教会の召しを果たしながらも、
家族のきずなを深めることができます。**

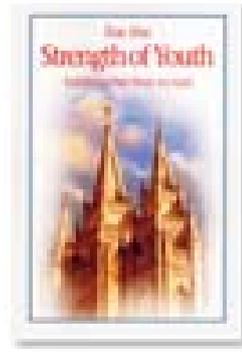


の妨げになっていると感じてしまうかもしれません。教会の指導者は、教会での奉仕と家族の責任のバランスを取ろうとしている会員たちの努力をよく心に留め、支援することで彼らを助けることができます。

家族とともに召しを果たす

適切な場合に限りませんが、家族とともに教会の召しを果たすことで家族のきずなを深める方法もあります。個人的な経験を話しましょう。

わたしが子供のころ、父は監督を務めていました。弁護士の仕事も忙しく、多忙を極めていましたが、地域社会の活動にも積極的でしたし、講演の依頼もよくありました。それに、もちろん、6人の子供の父親でもありました。わたしは父が正しい優先順位を持っていたことに、ずっと感謝してきました。父の優先順位のトップはいつも母でした。母に接する父の態度で、それは明らかでした。また、わたしたち子供にも実に献身的な父親でした。



6歳のとき、わたしは赤いワゴンをクリスマスプレゼントとしてもらいました。このミニチュアにそっくりのもので

す。この小さなワゴンは父とのきずなを強めてくれたのです。忙しい父は、家族を参加させしかも成果を上げる方法を見つけなければなりませんでした。

父が監督だった時期のほとんどが1930年代の大恐慌時代と重なっていました。当時、ワードの会員の多くが深刻な状況に置かれていました。監督として、父にはそのような人たちの生活に必要な物資を届ける責任がありました。これは監督と息子と小さな赤いワゴンにはうってつけの活動でした。

学校から帰って来ると、ガレージの横に小麦粉、砂糖、麦などが積まれていることがよくありました。わたしは、そんな日の晩は父とともに時間が過ぎることを承知していました。

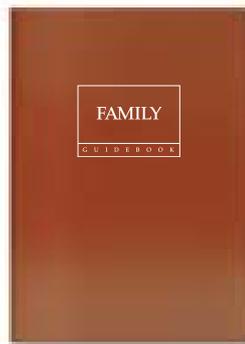
父が帰宅すると、わたしたちは二人で小さな赤いワゴンに1家族分の品物を載せました。そして二人で話をしながら歩いて行き、助けが必要な人たちに物資を届ける福祉の責任を果たしました。

わたしは善き神権指導者がワードの会員に示す愛と思いやりを、この目で見る事ができたのです。さらに大切だったのは、父と貴重な時間を過ごせたことでした。

基本的な優先順位に的を絞る

第1回世界指導者訓練集会で教えられたことを実践するようお勧めします。留意してほしいのは、教会のすべてのユニットがいずれも異なる発展段階に





あり、異なる必要を抱えているということです。教会のプログラムは、家族を考慮に入れて計画しなければなりません。

ホームティーチャーまたは訪問教師の責任は別として、会員には複数の召しを与えないように、もう一度警告します。基本的な優先順位に従うよう自制してください。そうすれば、主が王国の僕として責任を果たす皆さんに靈感を与え、導いてくださることに、皆さんは驚くでしょう。

回復された教会の究極の目的は、人の不死不滅と永遠の命をもたらす主の業をよりよく支援し、実現することにあります。それは、おもに家族を強めることによって達成されます。道徳心が地に落ち、政情不安、国際紛争、経済不安が蔓延するこの時代に、わたしたちは家族を強め安定させることに、いっそう力を注がなければなりません。教会の目的はまさに、家族が永遠の天の王国で救いと永遠の命を得ら

れるよう助けることなのです。

『家族ガイドブック』

数年前、教会はこの『家族ガイドブック』という冊子を出版しました。これは全会員向けに作られたものですが、特に新会員や教会での経験が少ない会員に役立つと考えています。ぜひ活用してください。この冊子の冒頭にはこう書かれています。

「家族は末日聖徒イエス・キリスト教会の基本単位であり、この世から永遠にわたって最も大切な、社会の構成要素です。神は家族を、神の子供たちが幸福を得、愛のうちに正しい原則を学び、永遠の命への備えをする場として定められました。

家庭は福音の原則を教え、学び、実践する理想的な場所です。」⁸

この冊子から役立つ教えを学ぶよう、お勧めします。

救い主の模範

主なる救い主は、一人一人を教え導き、^{しいた}虐げられた者を高め、落胆している人に希望を

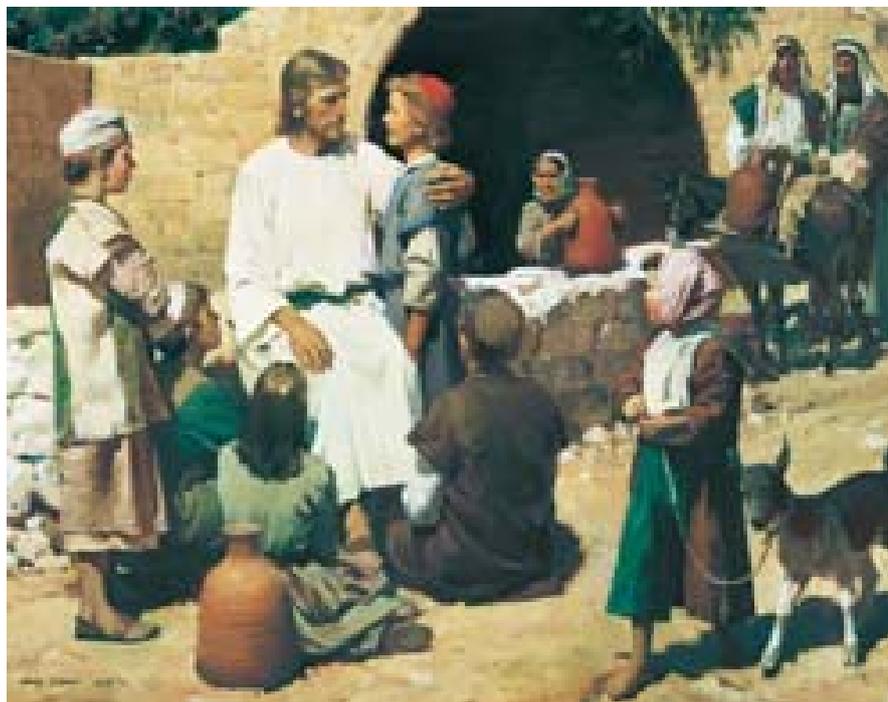
与え、道に迷った人を捜し求められました。主は言葉と行いを通して、人々に愛と理解と感謝の思いを示されたのです。主は、わたしたち一人一人の持つ天与の特質と永遠の価値を認めておられました。悔い改めを説くときでさえ、主は犯した罪はとがめても、罪人をとがめることはなさいませんでした。

教会の指導者は、救い主の模範に従い、仕える対象となる人々を愛して、一人一人に思いやりと配慮をもって接しなければなりません。主の祝福があつて、託された神聖な責任を果たすように。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号, 49
2. 「仕える特権を喜ぶ」『世界指導者訓練集会』2003年6月21日, 25 - 26
3. 『世界指導者訓練集会』2003年6月21日, 23 - 24
4. 『リアホナ』2004年10月号, 49
5. 『若人の強さのために』10
6. 『リアホナ』2004年10月号, 49
7. 『リアホナ』2004年10月号, 49
8. 『家族ガイドブック』1

『家族ガイドブック』(31180 300)は教会配送センターから入手することができます。



両親が持つ 神聖な義務

中央扶助協会会長
ボニー・D・パーキン



家族の責任

教 会の指導者や両親のためにわたしが願うことがあるとしたら、それは、天の御父の子どもたちを世話する中で、日々主の愛を感じてほしいということです。わたしの語る言葉が皆さんの心に触れるのではなく、御霊が、皆さんにささやきかけられますように。そしてそのすばらしい促しに従ってください。

1995年9月23日に、家族に関する宣言が与えられたときのことを、よく覚えています。わたしはタバナクルの中央扶助協会集会の席に座っていました。

最終話者のヒンクレー大管長が「家族——世界への宣言」を発表しました。静まりかえった会場には一種の興奮が感じられ、「そうです、わたしたちの家族には助けが必要です」という声が聞こえてくるかのようでした。

宣言の内容について、まさにそのとおりと感じたことは、忘れられません。涙が頬を伝いました。近くに座っていた姉妹たちを見回すと、同じ気持ちを感じているようでした。宣言の内容があまりに濃かったので、早く手にして研究したいという気持ちでいっぱいでした。宣言には、女性の尊厳についてはっきりと述べられています。すばらしいのは、この宣言がまず中央扶助協会集会で女性に与えられたということです。ヒンクレー大管長が女性を尊んでいることが分かります。

わたしたちは教会の指導者としてここに出席しています。皆、忙しい毎日を過ごしています。でも、忘れてはならないのは、第一の責任は自分の家族だということです。忘れないでください。家族は永遠の世に携えて行ける数少ない祝福の一つです。¹ ニューエル・K・ホイットニーは教会初期の時代、カートランドで監督をしていました。今日の監督と同じで非常に忙しく、多くの善

いことを成し遂げていたでしょう。しかし主は彼を懲らしめ、「家族を整える」ようにと命じられました(教義と聖約93:50)。兄弟姉妹の皆さん、この勧告は全員に当てはまるものです。

皆さんの多くは親か祖父母です。あるいはやがてそうなるでしょう。しかし、結婚しているかいないかにかかわらず、全員が家族の一員です。少しの間、自分の家族について考えてみてください。家族のどんなところが好きですか。わたしは4人の息子の仲がいいところが好きです。またそのことを喜んでいきます。

宣言では、家族についてどのように教えているのでしょうか。一つの段落に焦点を当てたいと思います。「神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養い育てるという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。」²

わたしは「神の計画により」という言葉が好きです。親としての責任は、天の御父が子供たちのために立ててくださった計画なのです。わたしたちは親として、生活必需品を提供し、家族を守り、養い育てるという神聖な責任があります。

では、提供し、守り、養い育てるという指針は、義にかなった子供を育てるうえでどのように役立つでしょうか。

提供する

宣言には、両親は「生活必需品」を提供するとあります。けれども、この必



たちに神聖な価値があると教えるとき、家族で教会に集うとき、家庭の夕べを開くとき、家族で祈るとき、ともに聖文を研究するとき、わたしたちは子供を守っているのです。どれ

も簡単な事柄ですが、非常に力強い守りとなることを皆さんに証^{あかし}します。

宣言では、両親には子供を守る神聖な義務があると教えています。虐待には、精神的なものもあります。伴侶や子供を侮辱する、価値のない存在として扱う、愛情をかけないなどです。妻や子供をたたいたり、殴ったりする父親は家族を守ってはいません。ある西アフリカの姉妹はこう話しました。教会に入る前は、母親も自分たちも父親からたたかれたそうです。「でも今は、父はわたしたちが神の子供であると理解しているので、尊敬と優しさを込めて接してくれます。」

両親は、子供がどのような友達を選ぶかを知ることで、子供を守ります。ある10代の少女は夜の活動について父親からあれこれ尋ねられて、怒りました。父親は宣言について説明し、自分が家族の守り手になるべきであり、娘を愛しているからこそほんとうに安全かどうかを確かめたいのだと言いました。

また、メディアの影響からも子供を守る必要があります。子供たちがテレビや映画館、友達の家で、何を見ているかを知るようにしてください。家にコンピューターがある場合は、それが間違いなく「徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値すること」のための手段となるように常に注意してください(信仰箇条1:13)。

生ける預言者に従うときに、わたし



り物だったと言います。働くことを教えてもらったからです。

金銭管理の方法を学べば、生活必需品を賄うのも上手にできるようになります。親として、予算内で生活する計画を子供と一緒に立ててください。欲しいものと必要なものとの区別を教えてください。伴侶に法外な^{ほんりよ}お金を払わせないでください。ヒンクレー大管長が負債を避けるように勧告したとき、知り合いのある父親は、すでに結婚している子供とひざを交えてそれぞれの家計について尋ねてみました。すると驚いたことに、二人の子供が大きな負債を抱えているのが分かったのです。その父親は子供たちに、返済計画を立てるのを手伝ってもいいか尋ねたそうです。

教育と訓練は、生活必需品を提供することにつながります。可能な限りの教育を受けるように子供を励ましてください。ある国では、中等教育を終えていないために、永代教育基金を受ける条件を満たせない若人がいます。今日の世では、両親が学び続けることも、非常に重要です。

守る

お話ししたい二つ目の指針は、守りです。何から守るのでしょうか。肉体的そして霊的な害から守るのです。子供

需品とは何でしょうか。そうです。住む家や食卓の食べ物です。しかし、福音の計画を知るわたしたちは、それ以上のものが必要であると知っています。それは、人格を築く力です。少し例を見てみましょう。

わたしたちは子供に働き方を教えれば、人格を築く力を提供していると言えます。孫のジェイコブの経験を話しましょう。あるとき孫が学校へ行きたがらなかったのも、母親はあれこれと試してみました。そしてついに孫を座らせ、こう話したそうです。「パパの仕事は会社でお金を稼ぐこと。ママの仕事は家であなたたちの世話をすること。ジェイコブの仕事は学校へ行くことよ。」ジェイコブはこの原則を理解し、受け入れ、学校へ行きました。

子供に労働について教えるためには、家の手伝いをさせたり、適切なら家庭の外でも働かせたりします。労働の価値を教えて、子供が生涯、自分で生活していけるように助けるのです。幼いうちから始めてください。夫は、自立できるようになったことが父親からもらった最高の贈

私たちは守られます。モルモン書を読むようにというヒンクレイ大管長の勧告に従ったとき、皆さんの家族はどのように守られたでしょうか。最近、イギリスのある姉妹から手紙を受け取りました。手紙にはこうありました。

「夫が教会に行かないと決めてから、わたしたち家族は大変つらい1年を過ごしました。夫はずっと活発で、監督会で奉仕したこともあります。どうすれば憤りや苦しい思いを感じずに済むのか、わたしは心の中で主に叫び求めていました。子供たちとは家庭の夕べをし、祈りを続けました。モルモン書を読むようにと勧告を受けたことで、神殿にいるときに、ある促しを感じました。それは、わたしと子供たちだけで聖文を読むのではなく、夫が家にいるときには、子供たちと聖典を持って夫のところに行くというものでした。それから毎晩夜9時になると、みんな夫のところに行きました。夫は、

最初は嫌がりましたが、今では一緒に読んでいます。教会にも来て、家庭の夕べにも加わり、福音についても教えてくれるようになりました。子供たちは主の足となり、贖いをもたらず愛の言葉を夫のもとに運んだのです。このことは、家族にとってすばらしい祝福となりました。」

養い育てる

最後に、3番目の指針は、養い育てることです。養い育てるとは、どのような行いでしょうか。また、そうするときに、何を感じ、どのような言葉を使うでしょうか。養い育てるときの行いや感情、使う言葉は、この聖句に表されています。「説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛により、優しさ……による。」(教義と聖約121:

41-42) 例を少し紹介しましょう。

養い育てるとは、愛によるしつけだと思います。ある若い母親は子供が言うことを聞かないと、子供の顔を両手で包んで目を合わせ、「お母さんの言う言葉をよく聞きなさい」と言うそうです。子供には賢い選択をするように教えなければなりません。子供のした行いの結果を取り除くことはできません。天の御父の計画の基本は、選択の自由であることを忘れないでください。

養い育てるときには、どのように感じるものでしょうか。家族を教える機会や良い関係を築く機会ほとんど、日々の生活の中で、ちょっとした予期せぬ瞬間に訪れるものです。夕飯の時間は、お互いを結びつけ、日々の出来事を話し、聞き、励まし、さらには笑い合うひとときです。笑いは重荷を軽くしてくれます。父親、母親の皆さん、愛する人たちと、定期的



に食事を共にしてください。

子供が皆成長し、自立すれば、親の務めは終わりでしょうか。いいえ。決して終わることはないのです。わたしたちが携わっているのは、永遠の家族を築くという偉大な務めです。夫とわたしがイギリスで伝道していたとき、息子が家族を連れて会いに来ました。そのときに息子が言ったことを忘れません。「教えてもらいたいことがあったから来たんだ。」一度親になったら、ずっと親なのです。すばらしいと思いませんか。12月にモルモン書を読み終えたとき、わたしはあることに気づいて圧倒されました。それは、モルモンでさえ、成人した息子モロナイに対して、次のような勧告を与えていることでした。「わが子よ、キリストに忠実でありなさい。……キリストに支えられて……キリストの^{あわ}憐れみと寛容と、キリストの栄光と永遠の命とを願う望みが、とこしえにあなたの心の中にとどまるように。」(モロナイ9：25)

養い育てるときには、どのような言葉を使うのでしょうか。時として、10代の子供に^{ふたこと}二言以上の返事をさせるのは難しいものです。それを改善するのに、非常に役立つ質問を見つけました。それは、「今、困っていることはない？何がいちばん大変？」という質問です。心を開いて答えてくれるでしょう。そのときは、ただ耳を傾けてください。批判やアドバイスなどは何もしないで、ただ聞いてください。関係やきずながどれだけ強くなるか、驚くことでしょう。監督や副監督の皆さん、ワードで青少年と面接するとき、この質問は大いに役に立つでしょう。

家族の祈りも人を養い育てます。わたしがずっと忘れないでいる思い出の

一つは、両親の小さな寝室で、ベッドのわきに父ときょうだいと一緒にひざまずいて聞いた、父の祈りです。入院中の母に祝福があるように天の御父に嘆願し、心を注ぎ出す父の祈りを聞きながら、祈りを聞いてくださる神が天におられると知りました。子供のために、学校の勉強や一日の守りを祈ってください。祈りを聞くときに、子供は親の愛や期待を知ることでしょう。

家族を強める

指導者として皆さんは仕えるべき家族をどのように強め、助けられるでしょうか。ここでも同じ指針が当てはまります。この提供し、守り、養い育てるという原則を使って、ワードにいる家族を強められるのです。

指導者は、親を差し置いて子供の面倒を見るのではなく、親を尊重することによって支援します。良き助言者となり、協力して行うことはできるでしょう。けれども、物事の進め方は両親の方法を尊重します。ある母親の経験です。「10代の息子たちは夫やわたしの言うことなど聞きたくもない様子でした。友達の影響から、時々、親には耳を貸そうとしなくなったのです。ありがたいのは、教会の指導者が、息子たちの助言者となってくれたことです。決して親の役割を取り上げるのではなく、息子たちの話をよく聞いて、わたしたちの方針を支持し、親に再び心に向けるように導いてくれたのです。」

どの家族も必要を抱えています。一人で子供を育てている母親の皆さんには、心を込めて少しだけ話をします。ある母親には子供が5人いて、夫は海外に派遣されました。彼女はこう語ります。

「2月の初めに夫が家を離れたときに

は、家の車はどれもちゃんと動いていました。でも、11月までには全部壊れてしまい、自分たちでは修理できませんでした。同じころ、17歳の息子から、福音が真実かどうか分からないから伝道に出るつもりはないと聞かされました。わたしの人生で神権の祝福が必要なときがあったとしたら、まさにあのときでした。日付や場所や詳しいことは覚えていませんが、その時期、愛ある神権者から、幾度か祝福を受けたことをはっきりと覚えています。ホームティーチャーに電話すれば、いつでも助けが得られることを、わたしはいつも知っていました。二人とも我が家の車を直すことはできませんでしたが、わたしがもっと必要としていた神権の祝福を与え、車を直せる人を探してくれました。」

献身的なホームティーチャーのおかげで、この家族の生活は大きく変わりました。親が一人で子供を育てている家族を、ホームティーチャーがよく知り、信頼を得て、神権の祝福を授けるなら、大きな違いを生み出すことができます。監督、大祭司グループリーダー、長老定員会会長の皆さん、このような母親もまたすばらしい独身の姉妹と同じで、家庭に神権の祝福を必要としているのです。

ヒンクレー大管長は、10年前、宣言を発表したときに「じわじわと世の汚れに染」まることについて警告しました。この預言的な宣言の中で、主の「家族にかかわる標準と教義とその運用」が再確認されました。³ 対照的に、この世は女性や母親の役割を指図しようとしています。現代の女性に必要なのは、立派な職業を持ち、組織に所属することで、さらに余力があれば子供を持つべきだと教えています。母親



指導者は、親を差し置いて子供の面倒を見るのではなく、親を尊重することによって支援します。

の栄えある役割はますます時代遅れになっています。はっきりと言います。神の計画によって与えられたと知っている事柄が、この世に脅かされるのを許してはなりません。

姉妹の皆さん、少しの間皆さんに向けて率直に話したいと思います。末日聖徒イエス・キリスト教会の扶助協会の会員として、家族という単位を養い育て、支えるのはわたしたちの祝福であり、責任です。すべての人は家族に属していて、すべての家族が強められ、守られる必要があります。

家庭を切り盛りするうえで、わたしが最も助けを得たのは、まず母親と祖母からでした。次に、引越した先々の扶助協会の姉妹たちからも学びました。技術を学び、そこにいたいと感じられるような家庭を築くことからたられる喜びを、目の当たりにしました。2006年1月に、家庭、家族、個人を豊かにする集会および活動の新しいガイドが出ました。すべての姉妹が扶助協会に参加できるように、これまでよりもさらに柔軟な形になっています。扶

助協会の指導者の皆さん、計画する集会や活動は、必ずすべての姉妹の家庭を強めるものとしてください。

家庭訪問は、家族を支えるためのもう一つの方法です。すべての姉妹に訪問教師となる機会があるように願っています。訪問教師は、姉妹を霊的に強めるだけでなく、養い育て、何が必要かを見極めるという独特な責任を持っています。扶助協会指導者の皆さん、福祉委員会で率先して働きかけ、訪問教師が確認した、霊的また物質的な助けを必要としている件について報告してください。

キリストの純粋な愛

既婚者の皆さんは、どうぞ思い返してください。伴侶のどのような点に引かれて恋に落ちたのですか。それを思い出せば、赦しの心が持てるでしょう。お互いに愛を伝えてください。妻は夫の心に自尊心を築くなら、夫の生活に大きな違いをもたらすことができます。夫は、「愛しているよ」という簡単な一言で、最悪の日をも明るくする

ことができるのです。両親が子供に与えられる最も偉大な贈り物は、親が愛し合っている姿を示すことです。

義にかなった子供を育てるうえでの親の務めは、提供し、守り、養い育てることであり、夫婦は対等のパートナーとして責任を果たします。指導者も同様です。指導者として働くのは、大変な仕事です。親も大変な仕事を負っています。落胆することがありますが、とにかく歩み続けます。そして家庭や教会の奉仕を通して、キリストの純粋な愛について多くのことを学ぶのです。

わたしたちは親として、また指導者として、天の御父が注いでくださる愛を子供に与える必要があります。モロナイ書第8章17節にはこうあります。「わたしは慈愛、すなわち永遠の愛で満たされている。」ここに主の御言葉を加えてください。「完全と平和のきずなである慈愛のきずなを、外套のように身にまといなさい。」(教義と聖約88:125)皆さんにお勧めします。行うすべての事柄において、慈愛の外套を身にまとうてください。キリストの純粋な愛によって家族を包み込んでください。

天の御父のみもとに帰り、御父とともに永遠に住むためにも、家族として、指導者として、皆さんが愛する人たちを慈愛の外套で覆うことができますように。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ゴードン・B・シンクレイ「仕える特権を喜ぶ」『世界指導者訓練集会』2003年6月21日、23参照
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2004年10月号、49
3. 「世の策略に対抗して立つ」『聖徒の道』1996年1月号、113

天の家—— 永遠の家族

第一副管長

トーマス・S・モンソン



永遠の家庭を築く

大管長会を代表して集会の最後に話すことにへりくだる思いです。ベドナー長老、ペリー長老、パーキン姉妹の話は、靈感にあふれ、霊を鼓舞するものでした。「家庭は義にかなった生活の基であり、ほかのどのような手段も、家庭に代わる役割を果たし得ませんし、……大切な役割を果たしてはくれません¹」という言葉の思い起こし、家庭と家族に思いを集中することができました。

家庭は、材木やレンガ、石などで築

かれた家以上の意味を持ちます。家庭は愛と犠牲、尊敬の念により築かれます。わたしたちは自分の家庭に責任を負っています。家庭を賢明に築かなくてはなりません。永遠は短い船旅ではないからです。穏やかなときや嵐のとき、光や影、喜びや悲しみもあるでしょう。しかし、力を尽くして努力をすれば、家庭は地上の天国となります。わたしたちの思い、行い、生き方は、現世の旅路がうまくいくかどうかにかかわるだけでなく、永遠の行く末をも左右します。

末日聖徒の家庭には、父親や母親、子供たちがそろって暮らす家庭もあれば、一人また一人といった具合に、家族との悲しい別離を繰り返している家庭もあります。時には、独身者が一人で家族を構成することもあるでしょう。しかしどのような形であれ、家族は続いています。家族は永遠のものだからです。

わたしたちは偉大な設計士、すなわち主から学ぶことができます。主はどのように家を建てたらよいかを教えてくださいました。はっきりとこう言っておられます。「おおよそ、……内わで分れ争う町や家は立ち行かない。」(マタイ12:25) 後の時代にも次のような

警告をしておられます。「見よ、わたしの家は秩序の家であり、混乱の家ではない……。」(教義と聖約132:8)

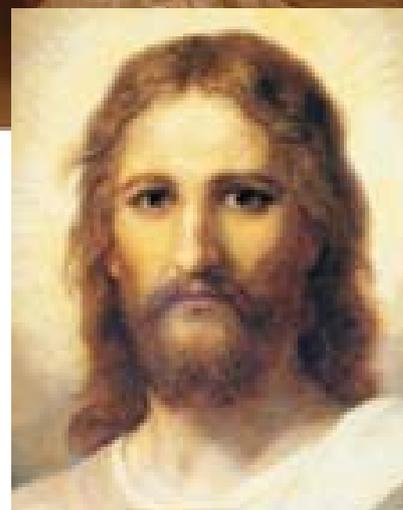
1832年12月27日、オハイオ州カートランドで、主は預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示を通して、こう勧告しておられます。「あなたがた自らを組織しなさい。すべての必要なものを用意しなさい。そして、一つの家、すなわち祈りの家、断食の家、信仰の家、学びの家、栄光の家、秩序の家、神の家を建てなさい。」(教義と聖約88:119。教義と聖約109:8も参照)

賢明で間違いのない家造りをするための設計図として、これ以上に確かなものをほかに見つけることができるでしょうか。このような家であれば、マタイによる福音書に書かれている、「岩の上」に家を建てるのに必要な建築基準を満たせるでしょう(マタイ7:24, 25参照。ルカ6:48; 3ニーファイ14:24, 25も参照)。移ろいやすく問題の多い現代の世の中ではごく当たり前になっている苦難の雨、敵意の洪水、疑いの風に遭遇しても、このような家は決して倒れることはありません。

しかし、こう尋ねる人がいるかもしれません。「この啓示は神殿の建設について与えられた指針ですが、今日でも通用するのでしょうか。」

そのような人にはこう答えたいと思います。「使徒パウロもこう言っているではありませんか。『あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか。』」(1コリント3:16)

家庭を築くうえで、主を導き手としましょう。そうすれば、わたしたち一人一人は、この建築計画全体の中で、



**主はこう勧告しておられます。
「あなたがた自らを組織しなさい。
すべての必要なものを用意しなさい。
そして、一つの家、すなわち祈りの家、
断食の家、信仰の家……を建てなさい。」**

重要な役割を担えるでしょう。そうすることでわたしたち全員が家を建てる者となるのです。さらにわたしたちは、自らの家庭を築くのに加え、教会の召しを忠実に、効果的に果たすことにより、地上に神の王国を築くという責任にもあずかっています。では、家を建て始めるに当たって考慮すべき神の導き、人生の教訓、重点について幾つか考えてみましょう。

ひざまずき祈る

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての

道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」(箴言3:5-6) ダビデの子であり、イスラエルの王でもあった賢者ソロモンはこのように言っています。

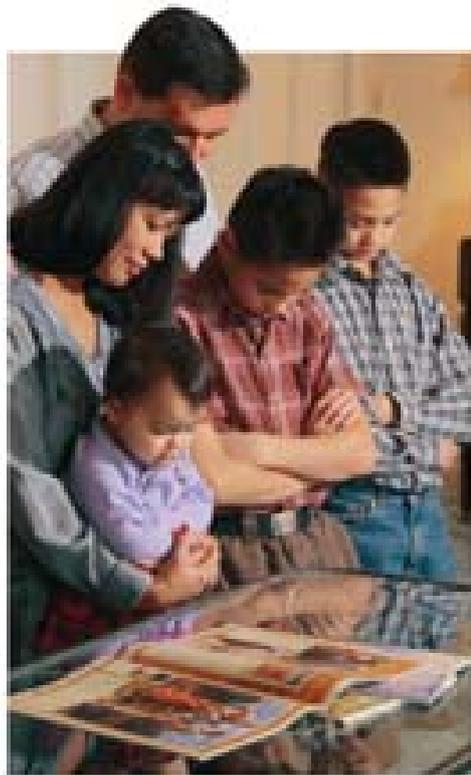
このことについて、アメリカ大陸においても、ニーファイの弟ヤコブが次のように宣言しています。「確固とした思いをもって神に頼り、篤い^{あつ}信仰をもって祈りなさい。」(モルモン書ヤコブ3:1)

神から与えられたこの勧告は、乾き切った大地を潤す清水のように、現代のわたしたちの渇きをいやしてくれます。わたしたちは困難な時代に生きています。

今のわたしたちは、ほんの数世代前には想像すらできなかった世界に生き、問題を抱えています。不道德、ポルノグラフィ、暴力、薬物、その他現代社会を悩ます数々の病に取り囲まれています。わたしたちは自分自身を「世の汚れに染まらずに」身を清く保つ責任だけではなく(ヤコブの手紙1:27)、子供たちや自分に託された人々を、いつか天の御父とともに暮らせるよう、取り巻く罪の荒海の中であって安全に導くという責任も与えられています。

家族を強めるには、親がその場において、時間を割き、最善の努力をすることが求められます。効果的に家族を強めるには、自らが模範となるという固い決意が必要であり、助言し導く機会を持つとともに、一人一人と時間を一緒に過ごさなければなりません。

時には責任に圧倒されることもある



でしょう。しかし助けはいつでも手の届くところにあります。御自分の子供たち一人一人を御存じである御方が、家族を導くうえで助けを探し求める、熱心で心のこもった祈りにこたえてくださいます。そのような祈りはより多くの問題を解決し、苦痛を和らげ、背きを防ぎ、ほかの方法では得られない、より深い平安と充足感を人の心にもたらしめます。

そのような導きが自分自身の家族のために必要であることに加え、わたしたちは、家族以外の人々に対する責任を伴う召しを受けています。監督、副監督、神権定員会指導者、補助組織指導者として、皆さんは人の生活に影響を与える機会にあずかっています。ある人は、家族が会員でなかったり、あまり活発でない会員であったりするかもしれません。ある人は親に反抗し、

親の望みや助言をないがしろにしているかもしれません。そのような状況にある人の生活に影響を与えることができるよう、主の御手に使われる者になろうではありませんか。しかしながら天の御父の導きがなければ、召しに伴うすべての責任を果たすことはできません。そのような助けは祈りによりもたらされます。

合衆国のある著名な判事は、次のような質問を受けました。「犯罪や違法行為を減らし、家庭や国家全体に平和と充足をもたらすために、わたしたちは一市民として何ができるでしょうか。」判事はよくよく考えてからこう答えました。「昔ながらの家族の祈りに立ち返ることではないでしょうか。」

一つの民としてわたしたちは、この教会では家族の祈りが時代遅れの習慣になっていないという事実に感謝しているのでしょうか。「ともに祈る家族は離れることがない」という、よく引用される格言の中には、確かに真の意味があります。

主御自身が家族の祈りをささげられるように命じ、次のように言われました。「あなたがたの妻子が祝福を受けるように、あなたがたの家族の中で、わたしの名によって常に父に祈りなさい。」(3ニーファイ18:21)

親、教師、そして指導者として、どれだけ力量があったとしても、託された人々が危険に満ちた現世の旅路を正しく歩めるよう導くことは、天の助けがなければ、ほとんど不可能です。

家族の祈り、個人の祈りをささげるときは、神への信仰と信頼が必要です。ひざまずいて祈りましょう。

自発的な奉仕

奉仕についても、主の生涯にその模範を見ることができます。地上で人々を教え導いておられたときの主は、まばゆいばかりに慈しみの光を放っておられました。主は、手や足の不自由な人を癒し、目の不自由な人を見えるようにし、耳の不自由な人に聞く力を与え、死んだ人を生き返らせられました。

主が語られたたとえには力があります。良いサマリヤ人のたとえで主は、「あなたの隣人を愛せよ」と教えられました(ルカ10:30-35参照)。^{かんいん}姦淫の罪を犯して捕らえられた女性に対しては慈しみを示し、それにより、哀れみをもって人を思いやることを教えられました(ヨハネ8:3-11参照)。また、

タラントのたとえでは、自分を高め、完成に向けて努力するように教えておられます(マタイ25:14-30参照)。主の教えに従えば、わたしたちは永遠の家族を築く責任をもっとよく果たせるようになるはずで

す。神権指導者であれ補助組織の指導者であれ、わたしたちは自分の神聖な召しに対して責任があります。召しを受けたとき、頭に手を置かれて任命されました。教義と聖約第107章99節で主はこうおっしゃっています。「それゆえ、今や人は皆、自分の義務を学び、任命されている職務をまったく勤勉に遂行するようにしなさい。」教会の召しを通してわたしたちが責任を負う人々を祝福し、強めることは、とりもなおさず彼らの家族を祝福し、強めることです。このように、教会の召しや家庭で行う奉仕は永遠に影響を及ぼすのです。

何年も昔、わたしが監督を務めたワードは、ソルトレーク・シティーの中心街で1,000人を超える多様な会員を擁していました。わたしはそこで、数々の問題に直面しました。

ある日曜日の午後、ワードの管轄区域内にあるドラッグストアの店主から電話がありました。彼によると、その日の朝、ある少年が店に来てカウンターでアイスクリームサンデーを買ったそうです。少年は封筒からお金を出して支払いましたが、封筒を置いたまま店を出て行きました。店主が見てみると、それはワード名と電話番号の書かれた断食献金の封筒でした。店に来た少年の年格好を聞くと、だれであるかすぐに分かりました。ある執事の少年で、家族は教会にあまり活発ではありませんでした。

わたしは大変なショックを受け、気が重くなりました。こともあろうに、うちの執事が日曜日に店に行き、助けの必要な人のために集めた断食献金でおやつを買ったのです。わたしはその日の午後にその少年を訪ね、教会の神聖な献金について、また、それを集めて守る執事の義務について教え込むことにしました。

その執事の家へ向かう車の中で、この事態を乗り切るためにどう話すべきか導きを求めて心の中で祈りました。ドアをノックすると、戸口に少年の母親が出て来て居間に通してくれました。ほとんど明かりのない部屋でしたが、狭く、古びているのが分かりました。わずかばかりの家具は使い古され、擦り切れていました。母親自身も、生活に疲れ切っているように見えました。

彼女の息子がしたことに対してその朝感じた憤りは、頭の中からすっかり消え去っていました。そこにほんとうに助けが必要な家族がいることを知ったからです。「家に食べ物はありますか」と尋ねると、彼女は涙ながらに、何もないことを打ち明けました。そして、夫が長い間失業していることや、食物だけでなく、お金がどうしても必要だと言いました。家賃を払わないと、その小さな家を立ち退くよう迫られるのです。

断食献金の一件は持ち出しませんでした。少年が店に立ち寄ったときにひどく空腹だったことが分かったからです。わたしは直ちに、家族に必要な食物と住居を確保する手はずを整えました。さらに、ワードの神権指導者の助けによって夫の働き口を見つけ、

今後、彼が家族の必要を満たせるようにすることができました。

神権指導者および補助組織指導者として、わたしたちには召しを尊んで大いなるものとし、責任を果たして主の働き手となる権利が与えられていま



教会の召しや家庭で行う奉仕は永遠に影響を及ぼすのです。

す。主の助けを求め、靈感が与えられたときには、それに従いましょう。どこに行き、だれと会い、何を言い、どのように伝えるのか、という靈感のとおりに行動するのです。幾ら熟考を重ねても、実行に移さなければ祝福をもたらすことはできません。

託された人々にとってわたしたちが真の羊飼いとなれますように。ジョン・ミルトンは「リシダス」という詩の中でこう書いています。「飢えた羊が目を上げるが、えさをもらえない」(第125行)。主は預言者エゼキエルにこう言われました。「わがわいなるかな、……イスラエルの牧者。……あなたがたは……群



託された人々にとってわたしたちが真の羊飼いとなれますように。

後にこう語っています。「家で過ごしたその後の何年かが、ほくの人生でいちばん幸せな時期でした。」

ここに紹介した父親は、息子が、断絶した家族や崩壊した家庭に起因する大勢の「行方の知れない人々」の一人になってしまう前に、感情やプライドを抑えて息子を救うために手を差し伸べました。愛は人を結びつけ、心の傷を癒します。愛はだれもが感じているのに、それを言葉で言い表そうとする人はあまりにも少ないのです。

はるかなシナイ山から語られた、主の次の声が耳に響き渡るようです。「あなたの父と母を敬え。」(出エジプト20:12) 後の時代になって、その同じ主はこう命じられました。「ともに愛をもって生活するようにしなければならぬ。」(教義と聖約42:45)

主の設計図に従う

ひざまずいて祈り、進んで奉仕の業を行い、道を踏み外した人に手を差し伸べてください。これはすべて、家を家庭に、家庭を天国にするために、神が準備してくださった設計図の重要な部分を成しています。

家庭と教会の召しにおける神聖で厳かな責任には、バランスが不可欠です。家族を養いつつ教会の召しを果たすときには、知恵と靈感、正しい判断が必要です。家庭も教会の召しもどちらも大切だからです。家族をないがしろにしてはなりません。また、教会の召しをおろそかにすることもできません。

確かな技術を身に付けて、安易な方法は避け、主の設計図に従って家庭を築き上げようではありませんか。そうすれば、建物の出来栄えをご覧にな

る主は、いにしへの時代に神殿を建てたソロモンに言われたように、わたしたちにこう言ってくださるでしょう。「わたしはあなたが建てたこの宮を聖別して、わたしの名を永久にそこに置く。わたしの目と、わたしの心は常にそこにあるであろう。」(列王上9:3) こうしてわたしたちは天国のような家庭と永遠の家族を持つとともに、ほかの家族を助け、強め、祝福できるようになるのです。

このような祝福が皆さんに注がれるよう、へりくだり、心から祈ります。イエスキリストの御名によって、アーメン。■

注

1. 大管長会からの手紙、1999年2月11日付。『リアホナ』1999年12月号、1参照

世界への宣言

末日聖徒イエス・キリスト教会
大管長会ならびに十二使徒評議会

わ たしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものであることを、厳粛に宣言します。

す べての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。

前 世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。聖なる神殿において得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなることを可能にするのです。

神 がアダムとエバに授けられた最初の戒めは、彼らが夫婦として親になる能力を持つことに関連したものでした。わたしたちは宣言します。すなわち、増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。またわたしたちは宣言します。生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。

わ たしたちは宣言します。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。

夫 婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負って

います。「子供たちは神から賜^{たま}った嗣業^{しぎょう}であり」(詩篇127:3)とあります。両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。

家 族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦^{ゆる}し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則ののっとして確立され、維持されます。神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養育するという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また、必要なときに、親族が援助しなければなりません。

わ たしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょう。

わ たしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事柄を押し進めてくださるよう呼びかけるものであります。



ソルトレーク・リバティースタークの集会所にあるセントグラス

「最初の示現」ルーシー・サーストン・キニー作

「わたしは筆紙に尽くし難い輝きと栄光を持つ二人の御方がわたしの上の空中に立っておられるのを見た。
すると、そのうちの御一方がわたしに語りかけ、わたしの名を呼び、別の御方を指して、
『これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい』と言われた。」(ジョセフ・スミス—歴史1：17)



「主」の預言者であり聖見者である
ジョセフ・スミスは、
ただイエスは別として、
この世に生を受けた他のいかなる人よりも、
この世の人々の救いのために多くのことを
成し遂げた。」(教義と聖約135:3)
新しい映画はジョセフ・スミスの生涯を
描写しています。
「ジョセフ・スミス——回復の預言者」
16ページ参照